

平成19年度（第51回）
岩手県教育研究発表会発表資料

図画工作 / 美術

**小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を
追究する力をはぐくむ指導に関する研究**
- ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用をとおして -

平成20年1月9日
長期研修生
所属校 久慈市立小国小学校
氏名 阿部 智子

目次

研究主題	1
研究仮説	1
研究の内容と方法	1
1 研究の内容と方法	1
2 授業実践の対象	2
研究結果の分析と考察	2
1 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導の基本構想	2
(1) 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導についての基本的な考え方	2
(2) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れる意義	3
(3) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導の展開	4
(4) 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導についての基本構想図	5
2 手だてにかかわる実態調査	7
(1) 実態調査の目的と内容	7
(2) 実態調査の分析と考察	7
3 ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れた手だての試案の作成	7
(1) 手だての試案作成の観点	7
(2) 手だての試案	7
(3) 検証計画	11
4 授業実践及び実践結果の分析と考察	12
(1) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れた授業実践の概要	12
(2) 実践結果の分析と考察	21
5 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導に関する研究のまとめ	31
(1) 成果	31
(2) 課題	31
研究のまとめと今後の課題	32
1 研究のまとめ	32
2 今後の課題	33

おわりに

【参考文献】

【参考Webページ】

研究主題

小学校中学年図画工作科の表現の学習においては、児童がよさや美しさなどの感じを考え、形や色などの組み合わせを工夫するなどしながら、発想・構想の能力や創造的に作り出す能力などを伸ばし、自分らしい表現を追究する力をはぐくんでいくことが求められている。

しかし、児童の実態をみると、描いたりつくったりする意欲はもっているが、自分の表したいものがなかなか思いつかなかったり、安易に作品例をまねて表したりして、自分らしい表現ができているとは言い難い。これは、自分らしい表現をするために、発想・構想を広げさせたり、自分にあった表現を見つけさせたりする指導の工夫が十分でなかったためと思われる。

このような状況を改善するためには、自分のこだわりを大切にさせながら、表したいものの発想・構想を広げさせたり、創造的な技能を高めさせたりすることが必要である。そのために、多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などを蓄積したポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを設置する。そして、この学習コーナーを指導過程の各段階において活用させることで、自分らしい表現を追究する力をはぐくむことができると考える。

そこで、この研究は、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用をとおして、自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導について明らかにし、小学校中学年図画工作科の学習指導の改善に役立てようとするものである。

研究仮説

小学校中学年図画工作科の表現の学習において、題材の指導過程の各段階で次のようにポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用させるならば、自分らしい表現を追究する力をはぐくむことができるであろう。

- おもいつく段階 ... 表したいものの発想を広げる。
- みつける段階 ... 表したいものの構想を深める。
- つくる段階 ... 自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する。
- ふりかえる段階 ... 自分の思いと表現活動や作品を照らし合わせて、ふりかえる。

研究の内容と方法

1 研究の内容と方法

(1) 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導の基本構想の立案（文献法）

小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導に関する基本的な考え方をまとめ、構成要素を明らかにするとともに、自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導についての基本構想を立案する。

(2) 手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察（質問紙法）

児童自ら作品展示を見に行くことに関する実態を調査し、その分析と考察を行い、手だての試案作成に役立てる。

(3) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れた手だての試案の作成（文献法）

基本構想及び実態調査に基づき、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れた手だての試案の作成をする。

(4) 授業実践及び実践結果の分析と考察（授業実践，記録法）

手だての試案に基づき，題材1つくりたいものをつくる「ハッピーボックス」，題材2絵に表す「色のぼうけん」の授業実践を行う。また，検証計画に基づいて，自分らしい表現を追究する力の構成要素の育成状況について分析と考察を行う。

(5) 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導に関する研究のまとめ

実践結果の分析と考察に基づいて，自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導に関する研究のまとめをする。

2 授業実践の対象

久慈市立小国小学校 第3学年（男子1名）・第4学年（女子1名） 1学級 計2名

研究結果の分析と考察

1 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導の基本構想

(1) 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導についての基本的な考え方

ア 自分らしい表現を追究する力とは

小学校図画工作科の目標は，「表現及び鑑賞の活動を通して，つくりだす喜びを味わうようにするとともに造形的な創造活動の基礎的な能力を育て，豊かな情操を養う。」であり，「つくりだす喜びを味わうようにする」については，「自分らしい表し方を思いのままに試しながら，自分の思いや夢を形や色などに実現していく喜びを味わうようにすること」と述べられている。

「自分らしい表し方を思いのままに試す」とは，自分らしいことを発想し，一度つくったところに手を加え，思いや意図に近づけようと活動の中で新しい表し方を試みることであると考える。また，「自分の思いや夢を形や色などに実現していく」とは，自分が表したい感じになるまでよさや表し方を工夫し，持てる力を発揮してつくりだすことであるとする。

これらのことから，「自分らしい表現を追究する力」を，「自分の思いに合ったものに近づけようと持てる力を発揮して，つくりだそうとする力」とする。

自分らしい表現を追究する力をはぐくむためには，まず，「描きたい」「つくりたい」という思いを十分にふくらませ，表現への欲求や好奇心をもたせることが大切である。そのためには，多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴に気付かせるように体全体の感覚を働かせてかかわりをもたせ，自分の表したいものの思いを広げることが必要である。

次に，「描きたい」「つくりたい」という自分の思いに合った表し方の見通しを持たせることが大切である。そのためには，多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴から自分の思いに合った表し方を見付けたり，試したりするかかわりをもたせ，自分の描きたいものやつくりたいものの思いを深めさせることが必要である。

そして，自分の思いに合わせて，活動させることが大切である。そのためには，つくる過程で，新たなことを思い付き，つくっているものを考え直し，新たに手を加えていくという行きつ戻りつの活動を大事にしていくことが必要である。この活動は，自分が納得するような思いや表し方をつくることにつながる。

さらに、自分の思いと表現活動や作品を照らし合わせて、ふりかえりをさせることが大切である。そのためには、自分がこだわりをもった表現活動や作品などの価値について見つめ直し、友だちと交流し、そして、作品を価値付けることが必要である。

この自分らしい表現を追究する力は、【表1】のように、「おもいつく力」「みつける力」「つくる力」「ふりかえる力」の四つの要素から構成されると考える。これらの構成要素は、行きつ戻りつの活動の中でスパイラルにつながり、自分らしい表現を追究する力がはぐくまれていくものである。

【表1】 自分らしい表現を追究する力の構成要素

構成要素	構成要素の意味
おもいつく力	多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴に気付く、自分の表したいものの思いを広げること
みつける力	多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴から、自分の思いに合った表し方を見付け、思いを深めること
つくる力	自分の思いに合わせて、自分が納得するように描いたり、つくったりすること
ふりかえる力	自分の思いと照らし合わせて表現活動や作品をふりかえり、作品を価値付けること

以上のことから本研究の目指す児童の姿を「自分の思いに合ったものに近づけようと、持てる力を発揮して、つくることができる」とする。

イ 自分らしい表現を追究する力をはぐくむ意義

自分らしい表現を追究する過程では、児童が自分の思いに合わせてよさや美しさなどの感じを考え、形や色などの組み合わせを工夫するなどしながら、作品をつくりあげていく。自分らしい表現を追究する力をはぐくむことは、表したいものを具現化するために働く造形感覚や創造的な技能などを高め、ものをつくりだすときに働く創造的な力を育てることができる。また、自分の思いを形や色などに実現していく喜び、すなわち「つくりだす喜び」を味わわせることができるという点で意義がある。

(2) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れる意義

ア ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとは

ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとは、多様な材料・用具・参考資料を蓄積した学習コーナーのことである。これは、自分のこだわりを大切にさせ、表したいものの発想を広げさせたり、構想を深めさせたり、創造的な技能を高めさせたりするためのものである。加えて、自分の思いと照らし合わせてふりかえりをさせるためのものである。

この学習コーナーは、以下に示す四つのポートフォリオで構成されている。

(ア) 材料ポートフォリオ

これは、題材で使うことのできる多様な材料を見せたり、触れさせたりして、体全体の感覚を働かせてその特徴に気付かせるとともに、扱い方をつかませるものである。材料は教師が用意するだけでなく、活動前・活動中に、児童が持ち寄った材料も蓄積していく。このような活用をとおして、多様な材料の特徴から、表したいものの発想を広げさせたり、構想を深めさせたりする。

(イ) 用具ポートフォリオ

これは、題材で使うことのできる多様な用具を試させることにより、扱い方をつかませるものである。そのために、用具試しの場を隣接設置する。用具は、活動中にも必要に応じて蓄積していく。このような活用をとおして、表したいものの発想を広げさせたり、構想を深めさせたり、創造的な技能を高めさせたりする。

(ウ) 参考資料ポートフォリオ

これは、題材で使う材料や用具を使った多様な表し方の参考資料・参考作品を提示することにより、作例・作品例の特徴をつかませるものである。活動中に、児童の発想を新たに広げるような参考資料なども蓄積していく。このような活用をとおして、表したいものの発想を広げさせたり、構想を深めさせたり、創造的な技能を高めさせたりする。

(I) 表現ポートフォリオ

これは、題材の指導過程の各段階で児童の思いを記録させるプリント（図工カード）、活動中に児童がこだわりを持ち価値を感じたものやその写真などを蓄積させるものである。表現活動中の試しの作品も蓄積していく。さらに、ふりかえる段階において、蓄積したものをもとに思いや表現活動をふりかえる活動をさせる。このような活用をとおして、児童自身が自分の表したい思いの実現状況をふりかえったり、価値付けしたりすることができるようにする。

イ ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した学習活動を取り入れる意義

ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用することにより、児童は、表したいことを思い付き、表し方を自由に試すことができる。このような活動をとおして、児童は、思いに合った色や形の組み合わせ方や表し方を見付けるなど、持てる力を思いのままに働かせることができる。このポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した学習活動を取り入れることは、持てる力を発揮してつくりだすことにつながり、自分らしい表現を追究する力をはぐくむことができるという点で意義がある。

(3) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導の展開

ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを指導過程の各段階で活用させることにする。

ア おもいつく段階

児童が、題材と出会い、表したいものの発想を広げる段階である。

ここでは、材料ポートフォリオ・用具ポートフォリオ・参考資料ポートフォリオにかかわらせることにより、次のことを指導する。

- ・材料の特徴に気付かせる。
- ・材料の効果的な組み合わせ方を工夫させる。
- ・用具の扱い方をつかませる。
- ・表したいものの発想を広げさせる。

さらに、価値を感じたことや発想したことを表現ポートフォリオに蓄積させる。

イ みつける段階

児童が、自分の思いに合った表し方を見付け、表したいものの構想を深める段階である。

ここでは、材料ポートフォリオ・用具ポートフォリオ・参考資料ポートフォリオにかかわらせることにより、次のことを指導する。

- ・材料や用具を使った表し方に気付かせる。
- ・材料や用具を使った効果的な表し方を見付けさせる。
- ・表したいものの構想を深めさせる。

さらに、価値を感じたことや構想したことを表現ポートフォリオに蓄積させる。

ウ つくる段階

児童が、自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する段階である。

ここでは、材料ポートフォリオ・用具ポートフォリオ・参考資料ポートフォリオにかかわらせることにより、次のことを指導する。

- ・材料の特徴を生かしてつくらせる。
- ・用具の扱い方を生かしてつくらせる。
- ・表し方を工夫してつくらせる。
- ・自分が納得するように表現させる。

さらに、価値を感じたことや表現したことを表現ポートフォリオに蓄積させる。

エ ふりかえる段階

児童が、自分の思いと表現活動や作品を照らし合わせて、ふりかえる段階である。

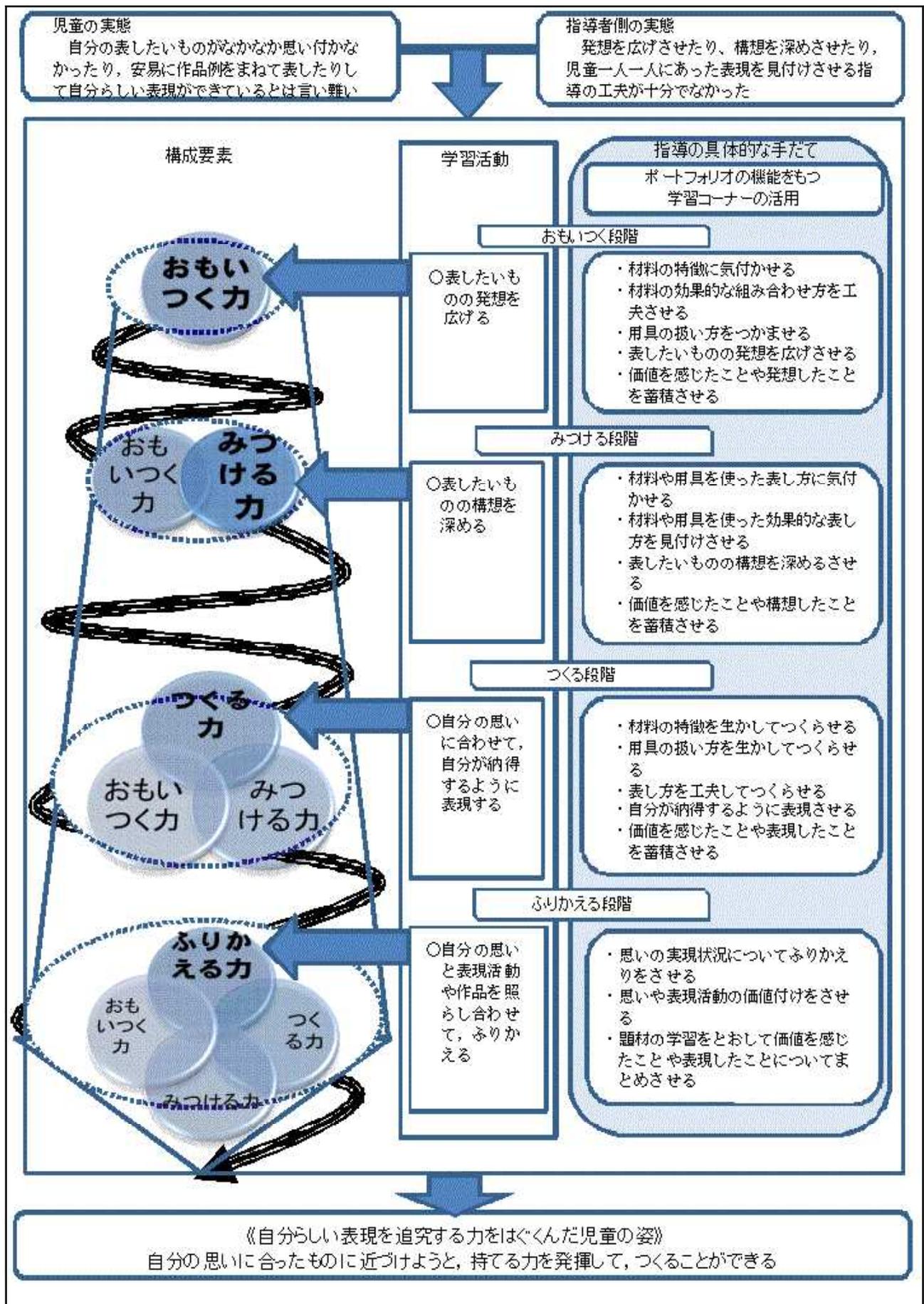
ここでは、表現ポートフォリオにかかわらせることにより、次のことを指導する。

- ・思いの実現状況についてふりかえりをさせる。
- ・思いや表現活動の価値付けをさせる。

さらに、表現ポートフォリオにおいて、題材の学習をとおして価値を感じたことや表現したことについてまとめる。

(4) 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導についての基本構想図

これまで述べてきたことを基に、本研究の基本構想図を6頁【図1】のように作成した。



【図1】小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導についての基本構想図

2 手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察

(1) 実態調査の目的と内容

手だての試案を作成するに当たって、児童の図画工作の学習におけるポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用に関する実態を把握するために、次のような内容と方法で質問紙を作成し、7月25日に実態調査を行った。

ア 調査の目的

この調査の目的は、研究対象となる3・4年生児童のポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用について実態を把握し、その分析と考察を行い、手だての試案の作成に役立てることである。

イ 調査の内容

作品展示を見に行くことに関する内容

ウ 調査の対象

久慈市立小国小学校 第3学年(男子1名)・第4学年(女子1名) 1学級 計2名

エ 実態調査の観点と設問内容

実態調査の具体的な観点と設問内容は、次の【表2】のとおりである。

【表2】実態調査の観点と設問内容

調査の観点	設問内容	手だてへの生かし方
作品展示を見に行くことに関する意識	作品展示をしたとき、自分から絵や工作などを見に行っているか	ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとのかかわらせ方に対する配慮事項とする

(2) 実態調査の分析と考察

作品展示を見に行くことの意識について調査した結果、2人とも作品展示をした時「自分から進んで見に行く」という回答であった。

このことから、児童2人は、身近にある作品などに自分から進んでかかわり、友だちの作品に関心があると考えられる。そこで、児童の作品展示を見に行くときの意欲を生かして、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとのかかわりをもたせる。しかし、かかわったことを自分の表現活動や作品に生かせるとは限らない。したがって、かかわったことを自分の表し方に生かすように手だてを工夫する必要がある。

3 ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れた手だての試案の作成

(1) 手だての試案作成の観点

基本構想及び実態調査の分析結果より明らかになったことを考慮して、以下の観点から手だての試案を作成していくこととする。

ア 児童がポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとのかかわり合っただけ気付いたことを自分の表し方に生かすことができるようにする。

イ 行きつ戻りつの活動においては、自分の思いに合わせて、納得するような材料や表し方などを追究できるようにする。

(2) 手だての試案

手だての試案作成の観点を基に、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導の留意点を以下のように考える。

ア 児童がかかわり合っただけ気付いたことを表し方に生かすことができるような工夫をする。

(ア) かかわり合っただけ気付いたことを自分の表し方に生かすことができるようにするために、題材や材料・用具などと体全体の感覚を働かせてかかわる時間を充分にとる。

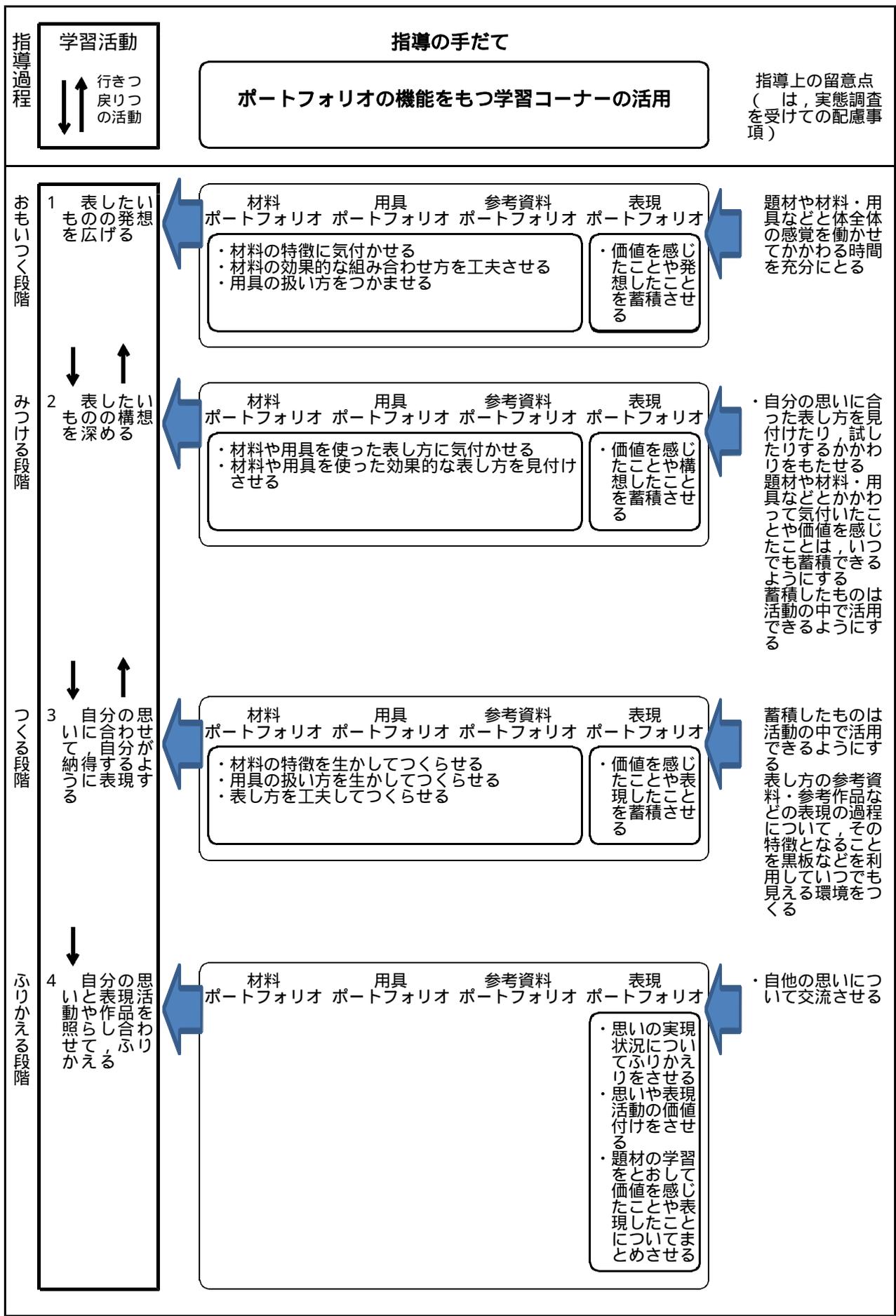
(イ) 題材や材料・用具などとかかわって気付いたことや価値を感じたことは、いつでも蓄積できるようにする。また、蓄積したものは、活動の中で活用できるようにする。

イ 自分の思いに合った材料や表し方などを追究できるようにする。

(ア) 表現ポートフォリオに蓄積したものは、活動の中で活用できるようにする。

(イ) 表し方の参考資料・参考作品などの表現の過程について、その特徴となることを黒板などを利用していつでも見える環境をつくる。

これまで述べてきたことを基に手だての試案を9頁【図2】のように作成した。また10頁【図3】は、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの事前準備の試案であり、11頁【図4】は、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの設置試案（全体図）である。



【図2】ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの手だての試案

ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの準備

《「絵に表す」の場合》

材料ポートフォリオ

描画材料
絵の具
クレヨン
サインペン
コンテ

被描画材料
画用紙
和紙
色画用紙

など

用具ポートフォリオ

描画用具
マーブリング用具
スパッタリング用具
ローラー
ビー玉類
発泡スチロール
綿棒
糸類
スポンジ
型
ストロー
粘土ペラ
割りばし
くぎ

製作用補助用具
ドライヤー
新聞紙

など

参考資料ポートフォリオ

参考資料（作例）
・モダンテクニック
墨流し（マーブリング）
合わせ絵（デカルコマニー）
型押し（スタンピング）
はじき絵（パチック）
吹き流し（ドリッピング）
スパッタリング
こすり出し（フロッタージュ）
ひっかき絵（スクラッチ）
はり絵（コラージュ）
糸引き絵
・にじみ・ぼかし

参考作品（作品例）
題材に応じた作品

など

表現ポートフォリオ

ファイル
図工カード

など

《「つくりたいものをつくる」の場合》

材料ポートフォリオ

材料例	自然材料	人工材料
点材	砂・小石 ・小さな 葉	ビーズ・お はじき・ポ タン・王冠 ・ビー玉
線材	つる・な わ・穂・ 竹ひご	針金・スト ロー・糸 (毛糸・た こ糸など) ・ひも・ス ズランテー プ・モール ・リボン・ 輪ゴム
面材	木の皮・ 板材	画用紙・色 画用紙・色 紙・和紙・ ティッシュ ペーパー・ 工作用紙・ ボール紙・ 段ボール紙 ・クラフト 紙
塊材	石・綿・ 貝・流木 ・自然木 (枝・根)	紙粘土・ウ タレン・ス タレンジ・空 き箱・空き 容器・紙パ ック・紙コ ップ・紙筒 ポ トル容器

など

用具ポートフォリオ

接着材
紙用
発泡スチロール用
木工用
ビニール用
ゴム用
皮用
金属用
ホットボンド

切断用具
はさみ
カッター
のこぎり

工具
ペンチ
のこぎり
かなづち
げんのう
パール

粘土板・粘土ペラ

彫刻刀・工作版

製作用補助用具
ドライヤー
新聞紙

など

参考資料ポートフォリオ

参考資料（作例）
・紙粘土の扱い方
粘土のように造形がで
きる
色を混ぜて造形がで
きる
例 のりまき
お団子
ねじりぼう
サンドイッチ
成形後の彩色がで
きる
芯を入れ、立てるこ
とができる

・接着剤の使い方
点で接着ができる
線で接着ができる
面で接着ができる

参考作品（作品例）
題材に応じた作品

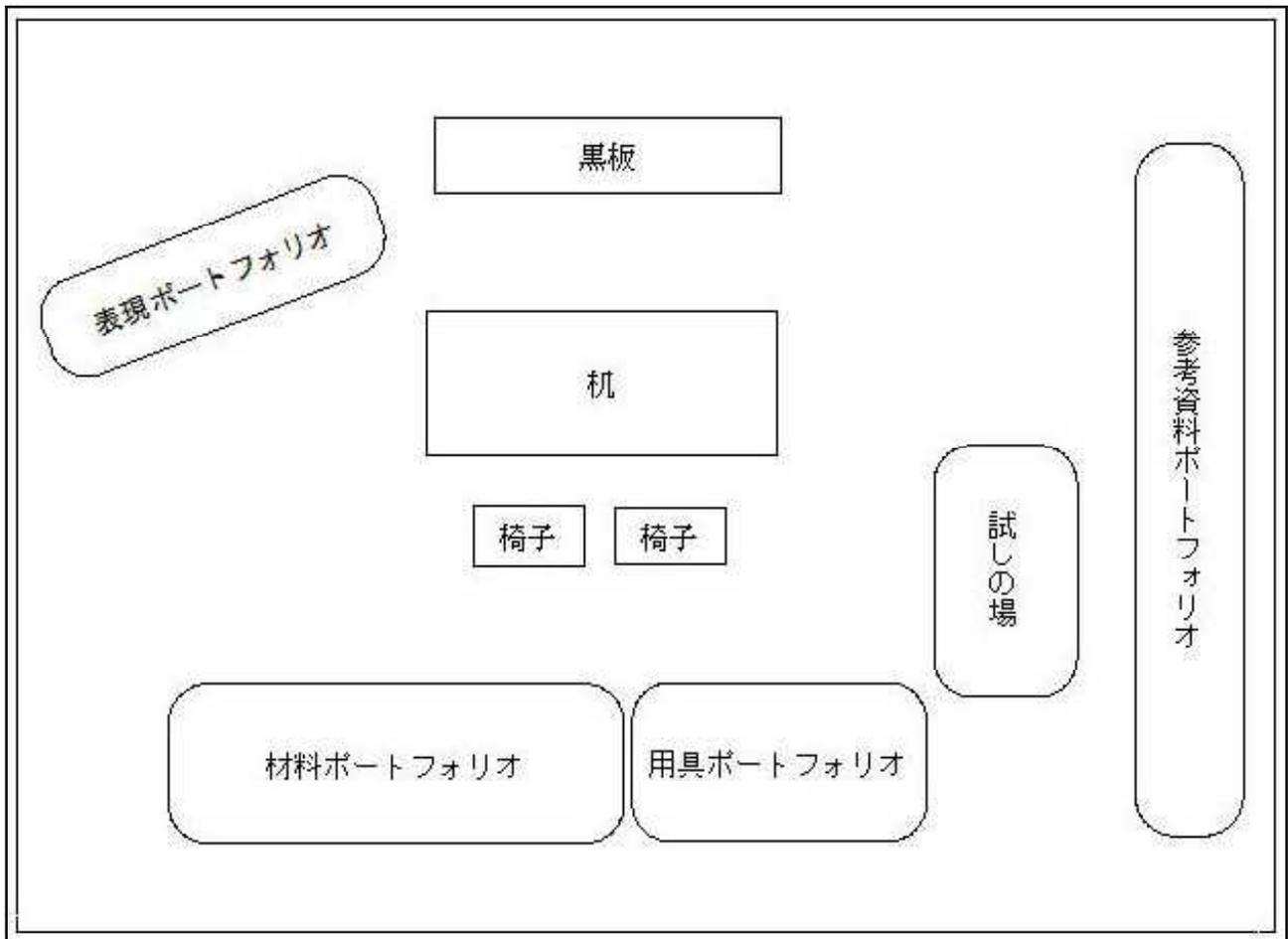
など

表現ポートフォリオ

ファイル
図工カード

など

【図3】ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの事前準備の試案



【図4】ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの設置試案（全体図）

(3) 検証計画

実践をとおして自分らしい表現を追究する力の育成状況をとらえ、その結果により、手だての試案の有効性、仮説の妥当性について分析し考察する。【表3】は検証内容と検証方法、及び処理・解釈の方法を示したものである。さらに12頁【表4】は、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した児童の学習活動の様子から、四つの力の育成状況を判断するときの具体的な姿を示したものである。

【表3】検証内容と検証方法

検証項目	検証内容	検証方法	処理・解釈の方法
自分らしい表現を追究する力の育成状況	・おもいつく力 ・みつける力 ・つくる力 ・ふりかえる力	授業記録を分析・考察 表現ポートフォリオの分析・考察	学習の様子から判断する時の具体的な姿に基づき、授業記録（ビデオ）と表現ポートフォリオを分析し、「自分らしい表現を追究する力」のはぐまれた様子をとらえ、考察する

【表4】四つの力の育成状況を判断するときの具体的な姿

検証内容	判断項目	判断する具体的な姿 (おおむね満足できる状況)	努力を要する児童への具体的な手だて
おもいつく力	多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴に気づき、自分の表したいものを思い付くことができる	<行動> ・表したいものを思い付き、表したいものの発想を広げるために、多様な材料・用具・参考資料などを自分から見たり、調べたりしている ・表したいものに使うことができそうな材料を持ってきている ----- <発言・記述> ・～の感じの～を表したい ・～をつくりたい ・～を表したい	・主題に合う材料や参考資料をいくつか提示する ・材料や参考資料などにかかわって感じたことを話させたり、メモさせたりする ・観点を具体的に示したプリントに記述させる
みつめる力	多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの扱い方や表し方に気づき、自分の思いに合った表し方を見付けることができる	<行動> ・思いに合わせて中心となる材料を見たり、触ったり、試したりしている ・思いに合わせて必要な材料集めをしている ・思いに合わせて表し方を探している ・思いに合わせて表し方を試している ・思いに合った表し方について話している ・イメージスケッチで構想を練っている ----- <発言・記述> ・～の材料を使って表したい ・～の表し方を使って表したい ・～の感じを表したい	・中心となるものやその周りにあるものを区別させる ・参考資料を紹介して、その中から表し方を見付けさせる ・材料の組み合わせ方や接着方法の例を提示する
つくる力	自分の思いに合わせて、自分が納得するように描いたり、つくったりすることができる	<行動> ・思いに合わせて材料の使い方を工夫し、描いたり、つくったりしている ・思いに合わせて色や形、材料の組み合わせを工夫し、描いたり、つくったりしている ----- <発言・記述> ・～を～の表し方で表しました ・周りの～の表し方を考えて表しました	・材料の特徴の違いを説明して、組み合わせ方を考えさせる ・色や形の組み合わせ方の例をいくつか紹介して試させる ・用具の扱い方を説明しながら扱わせる
ふりかえる力	自分の思いと照らし合わせて表現活動や作品をふりかえり、作品を価値付けることができる	<行動> ・これまでの自分の表現活動や作品をふりかえり、作品に題名をつけ、発表している ・自分の思いに合った表し方について話している ・作品について、どんなことを表そうと思ったか話している ----- <発言・記述> ・題は～です ・～の感じを表そうと思って～(技法・用具・材料)を使いました ・「(会話)」と話して(思っ)ています	・自分の思いを確認させて、そのことが記述されている箇所を表現ポートフォリオから抜き出させる ・完成した作品の良い点や工夫した点をメモさせる ・これまでの活動の中で良かったことをメモさせる これらをもとにして、発表原稿をまとめさせる

4 授業実践及び実践結果の分析と考察

(1) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れた授業実践の概要

ア 授業実践の計画

(ア) 対象

久慈市立小国小学校 第3学年(男子1名)・第4学年(女子1名) 1学級 計2名

(イ) 授業実践期間

平成19年8月29日～9月11日

(ウ) 指導計画

題材1 つくりたいものをつくる「ハッピーボックス」・・・4時間

題材2 絵に表す「色のぼうけん」・・・4時間

イ 授業実践の概要

手だての試案に基づいて作成した指導展開案に従い、二つの題材で授業実践を行った。授業実践の概要は13～20頁【資料1】～【資料8】に示したとおりである。

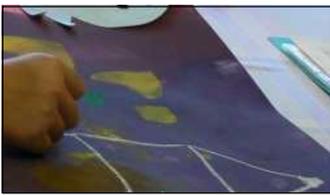
【資料2】授業実践1の概要(2/4時間)

「ハッピーボックス」 つくる段階		自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する					
過程	学習活動	学習の流れとポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用	手だて	教師の働きかけ	3年生男子の反応	4年生女子の反応	児童の様子
導入	1 前時の学習のふりかえりをする 2 本時の学習課題を確認する	学習課題 自分の思いに合わせて、材料を選んだり、組み合わせたりしてつくろう					3年生男子 材料ポートフォリオのモジュール、紙粘土、資料、ポートフォリオ、用具、ポートフォリオを活用した。モジュールを目や口の位置に当てる長さや目を入れた時、「かわいい」とつぶやいていた。
展開	3 思いに合わせて表現する ・箱の中の世界や箱の開き方を考え、つくる ・材料の組み合わせや表し方を試したり、工夫したりする ・より思いに合った材料や表し方などを見付ける	<p>T: 3年生は「星空のお店」、4年生は「花の噴水」という表したい感じに合わせて材料を選んだり、組み合わせたりしてつくみましょう。</p>  <p>お店の人を紙粘土でつくろう。この大きさくらいの人だと、箱に入るかな。</p> <p>大きさは、ちょうどいいけど、今度は、立たないなあ。</p> <p>T: 倒れないためにどんな作り方をしているでしょう。</p> <p>分かった。足を太くすればいいんだ。</p>  <p>花の噴水支柱部分の太さは、ちょうどいいかな。太くした方が丈夫に立つかもしれない。</p> <p>T: 柱状の物を用紙にはり付ける表し方もありますね。</p> <p>柱状のものを組み合わせて、支柱部分をつくれればいいと思う。</p> <p>支柱部分に使えるような紙筒がある。使ってみよう。</p> <p>参考資料 ポートフォリオ</p>  <p>材料ポートフォリオ</p> 				4年生女子 材料ポートフォリオのモジュール、貝殻、資料、ポートフォリオを活用した。噴水が飛び出すように上下に動かしていた。紙粘土を水で固め、周りにペンチをつけた。	
終末	4 学習のふりかえりをする 5 学習のまとめをする	<p>T: ふりかえりをしましょう。</p> <p>星空のお店に合わせて材料を選んだり、モジュールを組み合わせたりしてつくりました。目にモジュールをさしたらかわいらしかったです。</p> <p>花の噴水に合わせて、紙粘土を選んだり、ビーズを組み合わせたりしてつくりました。ビーズで人の口や目をつくることを発見しました。</p>					

【資料4】授業実践1の概要（4 / 4時間）

過程	学習活動	学習の流れとポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用	児童の様子
導入	1 前時の学習のふりかえりをする 2 本時の学習課題を確認する	「ハッピーボックス」つくる段階 自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する ふりかえる段階 自分の思いと表現活動や作品を照らし合わせて、ふりかえる 学習課題 自分の思いに合わせて、材料を選んだり、組み合わせたりしてつくろう	3年生男子 参考資料ポートフォリオを活用し、箱内の描画を見ていた。人物の彩色から始めた。
展開	3 思いに合わせて表現する ・より思いに合った材料や表し方などを見付ける	学習課題 自分の思いに合わせて、材料を選んだり、組み合わせたりしてつくろう 手だて 教師の働きかけ 3年生男子の反応 4年生女子の反応 用具ポートフォリオ T：すてきな世界になるように仕上げをしましょう。  ブラシで、流れ星の流れるところを描いてみたよ。すごく、いい。いっぱい流れ星だよ。巨大星だよ。 噴水の水が飛び散った感じにしたいな。カラーボール・おはじき・ボタンをつけよう。	3年生男子 参考資料ポートフォリオを活用し、箱内の描画を見ていた。人物の彩色から始めた。用具ポートフォリオのブラシ・ペンなどを用いた。筆洗った。画用紙や「あ」の感じを話していた。
終末	4 表現活動や作品のふりかえりをする ・自分の表現活動や作品についてふりかえりをする 5 学習のふりかえりをする 6 学習のまとめをする	学習課題 自分の思いに合わせて表したところをふりかえろう 表現ポートフォリオ T：表現ポートフォリオや作品を見て「作品の題名」を考えましょう。「この作品をどんな思いでつくってきたか」ふりかえりましょう。 『星空のお店』 星空のお店をつかって絵の具を塗ったらもっときれいになりました。うれしかったです。目立つ店にしようと思いました。つくってみたら光っていたので目立つと思いました。 『わくわくランド』 噴水をつくった時、花の茎のところを、トイレトペーパーの芯を茎にして、カラーボールをはりました。楽しくて、面白くて、わくわくするような噴水をつくることができました。 T：ふりかえりをしましょう。 ぼくは、工夫できたところが良かったです。光るものがいっぱいありました。いっぱいあったから、工夫できました。 いろんなポートフォリオを使って、わくわくしました。こんなきれいなものができて、うれしかったです。	4年生女子 噴水口から作りはじめた。箱の蓋を接着し、周りのものをくっつけた。材料ポートフォリオのレース・おどろきなどは活用した。用具ポートフォリオの強力接着剤・工作用接着剤・テープなどを活用した。

【資料7】授業実践2の概要(3/4時間)

「色のぼうけん」 つくる段階		自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する					
過程	学習活動	学習の流れとポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用	手だて	教師の働きかけ	3年生男子の反応	4年生女子の反応	児童の様子
導入	1 前時の学習のふりかえりをする 2 本時の学習課題を確認する	学習課題 自分の思いに合わせて、材料を選んだり、組み合わせたりして表わそう					3年生男子 参考資料 ポリッシュペンとサインペンで表した作品を見た。ポートフォリオのサインペンを活用した。色画材の組み合わせを考えた。同画具の不思議な感じを表現しようと思った。レインの色を組み合わせると、家が描けるように描いていた。
展開	3 思いに合わせて表現する ・描画材料や描画用具などの表し方を生かしながら、表現する ・よりよく表わすために付け加えるものや模様などの細部にどのようにするか、思いを込める ・より思いに合った表し方を見付ける	<p>T：自分の不思議な世界にどんなものがあつたらいいか、考えていたことを表しましょう。</p> <p>ぼくは、木の感じをサインペンで表そう。</p> <p>わたしは、クレパスを使って美しい国にいつしか迷いこんだ感じを表そう。</p> <p>今度は、不思議な家をクレヨンで描こう。</p> <p>不思議な感じの家を五軒、描いたよ。</p> <p>クレパスの肌色と青い色を重ねて塗ったら、水色に近い色になったよ。美しい色の世界を感じだよ。</p> <p>背景が濃い色だから、クレパスの白で家を描いたよ。不思議な世界に迷い込んだ人たちが建てた家だよ。</p>					4年生女子 プリンターで表した折り紙の線が切り抜いた濃い色で塗った紙の上を考えた。ポートフォリオのクレパスを使った。クレパスの混色を試みた。
終末	4 学習のふりかえりをする 5 学習のまとめをする	<p>T：ふりかえりをしてしましょう。</p> <p>不思議な家の感じを表すように、変わった形の窓を描きました。森の空気をたくさん吸うことができるように、大きい窓も描きました。</p> <p>色と色とを組み合わせたり、色を混ぜたりしてきれいな感じを表しました。不思議な世界に迷い込んだ感じを表すように描きました。</p>					

【資料8】授業実践2の概要(4/4時間)

過程	学習活動	学習の流れとポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用	児童の様子
導入	1 前時の学習のふりかえりをする 2 本時の学習課題を確認する	<p>学習課題 自分の思いに合わせて、材料を選んだり、組み合わせたりしてつくろう</p>	3年生男子
展開	3 思いに合わせて表現する ・より思いに合った表し方を見付ける	<p>学習の流れとポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用</p> <p>手だて 教師の働きかけ 3年生男子の反応 4年生女子の反応</p> <p>用具ポートフォリオ</p> <p>T: 不思議な世界になるように仕上げをしましょう。</p>  <p>図工カードとぼくの絵を比べてみたよ。もっと、家を大きく描いて町の感じを表そう。</p>  <p>クレパスで描いたところに、もっと工夫をしたいな。粘土ベラでひっかけ絵をして、不思議な感じを表したいな。</p>	3年生男子
展開	4 表現活動や作品のふりかえりをする ・自分の表現活動や作品についてふりかえりをする	<p>学習課題 自分の思いに合わせて表したところをふりかえろう</p> <p>表現ポートフォリオ</p> <p>T: 表現ポートフォリオや作品を見て「作品の題名」を考えましょう。「この作品をどんな思いで描いてきたか」ふりかえりましょう。</p> <p>『たくさんの空気を吸える森の町』 ぼくは、この絵を宝だと思っています。緑がいっぱいの町です。緑がたくさんだから空気がおいしいです。楽しいです。...</p> <p>『お菓子の国』 迷い込んだ世界を表しました。不思議な模様(マーブリング模様)のたこくんに会おうと、みんなはついて行きたくなります。「遊びに来てね。」...</p>	4年生女子
終末	5 学習のふりかえりをする 6 学習のまとめをする	<p>T: ふりかえりしましょう。</p> <p>不思議な感じを表すために、ローラーや吹き流しをしました。どんどんアイデアが浮かんできて楽しかったです。</p> <p>描いてみてお菓子の国がうまくできました。迷い込んだけど、楽しくて不思議な感じできて嬉しかったです。初めてのマーブリング・ローラーが楽しかったです。</p>	4年生女子

(2) 実践結果の分析と考察

手だての試案の有効性をみるために、二つの授業実践を行った。

授業実践1は、A表現(2)つくりたいものをつくる「ハッピーボックス」である。学習の主題は、「紙粘土や身近材料のよさや美しさなどに気付き、それらを生かし開いた箱の中に想像した世界を工夫しながら楽しくかいたりつくったりする」である。授業実践2は、A表現(2)絵に表す「色のぼうけん」である。学習の主題は、「水彩絵の具やクレヨンなどの描画材料・描画方法のよさや美しさなどに気付き、それらを生かし自分の想像した世界を工夫しながら楽しく表す」である。

これら二つの授業実践をとおして、「自分らしい表現を追究する力」について、学習活動の様子(授業記録・カード記入・作品)を判断するための具体的な姿に基づき分析し、考察を行った。

ア 授業実践1の実践結果の分析と考察

以下は、題材1「ハッピーボックス」の授業実践における四つの構成要素の育成状況である。

(ア) おもいつく力の育成状況

おもいつく力は、【資料9】であう段階における児童の反応(抜粋)

「多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴に気付き、自分の表したいものを思い付くことができる」ということを目指している。【資料9】は、おもいつく段階における児童の反応の一部を抜粋したものである。

3年生男子は、学習課題に対し、のように発言し、「お店や博物館をつくりたい」ということを記述している。このこと

から、自分がつくりたいものの方向性をつかんでいることが分かる。そして、のように自分から材料ポートフォリオにかかわり、【写真1】のように「光る素材」を自分の作品に利用したいと思い、「光る素材」から「星空」を連想し、自分がつくりたいものを「星空のお店」と記述したと考えられる。

4年生女子は、学習課題に対し、「お城にすごいものが

3年生男子の反応	4年生女子の反応
T: 「すてきな世界を考えましょう。この箱の中に、どんな世界があったらすてきでしょう。」お菓子の箱を提示する。	T: 「すてきな世界を考えましょう。この箱の中に、どんな世界があったらすてきでしょう。」お菓子の箱を提示する。
C: 「 <u>すごい</u> いっぱい、 <u>お店</u> とか家がある感じ。」【発言】	C: 「 <u>お城</u> がある感じ。 <u>お城</u> に <u>すごいもの</u> がある。」【発言】
T: うなずく。	T: ポートフォリオコーナーを見たり、触ったりしながら考えましょう。
C: 「 <u>わくわく</u> する箱で、 <u>お店</u> や博物館をつくりたい。」と記述する。【記述】	C: 参考資料ポートフォリオへ移動する。児童用参考資料1↓しかけ絵本のドアを開き、動物を見る。図工カードに「 <u>楽しくてわくわく</u> するようなもの」を記述する。【行動】【記述】
T: ポートフォリオコーナーを見たり、触ったりしながら考えましょう。	T: 児童と一緒に参考資料ポートフォリオへ移動する。
C: 自分から、材料ポートフォリオへ行く。机の端から順番に材料を見たり触ったりしている。【行動】	C: 参考資料ポートフォリオで、「 <u>わくわく</u> するようなものだから。」と話す。児童用参考資料2)を発見し、見る。庭園の真を注視する。その中のものを一つ一つ見る。【行動】【発言】
C: <u>光る素材</u> 「セメダインテープ」見ている。【行動】	T: 「庭にあるもの、階段、スロープ、花壇・・・。」などを一つ一つを示して、そのものの名前を話す。
C: すぐに、自席にもどり「 <u>星空</u> のお店」と図工カードに記入する。【記述】	C: 花壇の花や芝生を見る。庭園中央の噴水を見付ける。「 <u>噴水</u> 。」と話す。【行動】【発言】
	C: 「 <u>花の噴水</u> 」と図工カードに記述する。【記述】

児童用参考資料

- 1) Ruschak Rousseau (1997), 『ALPHABET ZOO』
- 2) マギー・ペイトソン(かがわけいこ訳)(2007), 『ようせいのおしろのぶどうかい』, 大日本絵画

「注」 丸数字は、児童の反応として、文章中の、丸数字と対応している。



【写真1】「光る素材」を注視し、ひらめく様子

ある感じ」と発言している。しかし、具体的に思い付く様子が見られなかったことから、参考資料ポートフォリオの活用を促した。すると、 のように行動して「楽しくてワクワクするようなもの」と記述している。これは、しかけ絵本の中の動物を見たときの印象（「見るだけでときめくようなもの」）を、自分の作品に表すことを思い付いたと考えられる。そして、 のように参考資料ポートフォリオとかわかり、【写真2】のように庭園の頁にあるものを注視している。これは、「ワクワクするもの」を表すためにどんなものをつくりたいか、参考資料を手がかりにして思案していると考えられる。 のように行動し「噴水」と発言している。これは、庭園の様子を自分の作品に表したいと思い、庭園にあるものから特に「噴水」に注目し、表したいものの方向性をつかんでいると考えられる。その後、「花の噴水」と記述している。これは、庭園の花壇の様子を生かした噴水の表し方を連想し、自分がつくりたいものを「花の噴水」と記述したと考えられる。



【写真2】参考資料をのぞき込んで見る様子

このように、表したいものの方向性をもってポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとかわることによって、自分が表したいものを思い付き、3年生男子は「星空のお店」、4年生女子は「花の噴水」の

【資料10】みつける段階における児童の反応（抜粋）

(イ) みつける力の育成状況

みつける力は、「多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの扱い方や表し方に気付き、自分の思いに合った表し方を見付けることができる」ということを目指している。【資料10】は、みつける段階における児童の反応の一部を抜粋したものである。3年生男子は、 のように材料ポートフォ

3年生男子の反応	4年生女子の反応
<p>T: 『『星空のお店』を表す材料は、どんなものでしょう。ポートフォリオコーナーを見たり、触ったりしながら、考えましょう。』</p> <p>C: 『『星空のお店』を表す材料を探す。材料ポートフォリオで、色や形の異なる材料を見る。【行動】</p> <p>T: 『参考資料ポートフォリオにもありますよ。星空を表す感じはどんな材料でしょう。』</p> <p>C: 『参考資料ポートフォリオへ行く。自分で、<u>児童用参考資料1)</u>を選び、<u>虹色をした海の中に「光る素材」を使って効果的に描かれた魚を注視する。【行動】</u></p> <p>C: 『材料ポートフォリオの小物類を指で<u>触んで触る</u>。自席へ戻り材料に「ボタン」を記述する。【行動】<u>【記述】</u>』</p> <p>C: 『材料ポートフォリオの<u>大きさの異なるカラーボールを触んで考える</u>。自席へ戻り、考える。材料ポートフォリオへ移動する。【行動】』</p> <p>C: 『<u>ビーズを見る</u>。いろいろな形のビーズの中から、<u>花の形のビーズを</u>摘む。間近で見る。「<u>これって、何ですか？</u>」【行動】【発言】』</p> <p>T: 『「ビーズです。」』</p> <p>C: 『自席へ戻り、材料「<u>ビーズ</u>」を記入する。【行動】【記述】』</p> <p>C: 『「<u>ピカピカするビーズを見たら、花の形でした。だから、星にしたいと思いました。</u>」<u>図工カードに表し方を記述する。【記述】</u>』</p> <p>C: 『「<u>星空の店をビーズのきらきらした感じで作りたいです。自分のイメージに合うものがあってよかったです。材料を使うのが楽しみです。</u>」<u>図工カードにふりがえりを記述する。【記述】</u>』</p>	<p>T: 『『花の噴水』を表す材料は、どんなものでしょう。ポートフォリオコーナーを見たり、触ったりしながら、考えましょう。』</p> <p>C: 『『花の噴水』を表す材料を探す。材料ポートフォリオへ移動する。<u>一つ一つの材料を見ている。貝殻を触って考える。【行動】</u>』</p> <p>T: 『「<u>こういうのもありますね。</u>」<u>太さに特徴のある毛糸を示して、庭園の木々に見立てる例を紹介する。</u>』</p> <p>C: 『<u>近くにあった、カラーボールとモールを見て、両手を合わせるしぐさを</u>する。<u>噴水のようにモールを開かせる。【行動】</u>』</p> <p>C: 『「<u>飛び散る感じをカラーボールでしたらいいかも。</u>」と話す。【発言】』</p> <p>T: 『しぐさを見てうなずく。』</p> <p>C: 『目の前の材料ポートフォリオの材料を見る。【行動】』</p> <p>C: 『「<u>カラーボールで水が飛び散ったところを表したいです。</u>」<u>図工カードに表し方を記述する。【記述】</u>』</p> <p>C: 『「<u>ワクワクするような噴水をつくりたいです。飛び散る感じをモール・カラーボールで表したいです。</u>」<u>図工カードにふりがえりを記述する。【記述】</u>』</p>

児童用参考資料
1) マーカス・フィスター（谷川俊太郎訳）、1995、『にじいろのさかな』、講談社

リオにかかわり、星空を表す材料を探している。色や形の異なる材料を見ていることから自分の表したい星の特徴を考え、材料を探していることが分かる。「光る素材」と「色や形の異なる素材」を組み合わせた表し方に気付かせるために、参考資料ポートフォリオの活用を促した。すると、 のようにかかわり【写真3】のように「光る素材」と「色や形の異なる素材」を組み合わせた表し方を注視していた。このことから、二つの素材を組み合わせた表現に関心を示したと考えられる。さらに、材料ポートフォリオにかかわり、 のように小物類に実際に触れながら特徴を確かめ、使いたい材料を記入している。このことから、いろいろな素材を組み合わせて、表そうとしていることが分かる。その後、 花の形のビーズを摘み、間近で見て「これって、何ですか」と質問し、名前が分かり、「ビーズ」と記入している。これは、特に気になった「花の形のビーズ」を星に見立てていると考えられる。そして、「ビーズ」を「星にしたい」と表し方を記述している。また、「空の店をビーズのきらきらした感じで作りたい」「自分のイメージに合うものがあってよかった」とふりかえりを記述している。このことから、「星空のお店」を「ビーズ」を使って表すことを決定したと考えられる。



【写真3】「光る素材」の参考資料を見る様子

4年生女子は、 のように材料ポートフォリオとかかわり、花の噴水を表す材料を探している。

【写真4】のように「一つ一つの材料を見ている」「貝殻に触っている」ということから、気になった材料の特徴を生かした表し方について考えていることが分かる。思案する様子が見られたので、材料ポートフォリオにあった毛糸を示し、糸の色や不規則な太さの特徴から庭園の木々に見立てる例を紹介した。すると、 のように両手を合わせるしぐさをしたり、噴水のようにモールを開かせたりしていた。このことから、モールの曲線を生かし、噴水の水が吹き出す様子を表そうとしていることが分かる。さらに、



【写真4】小物類の特徴・表し方を考える様子

のように「カラーボール」を水が飛び散る感じに表そうと材料を見立てていることが分かる。その後、 のように「飛び散る感じをモール・カラーボールで表したい」という記述していることから、「花の噴水」の水が飛び散る様子を「モール」「カラーボール」を使って表すことを決定したと考えられる。

このように、自分の思い付いたことに合わせてポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとかかわることによって、自分の思いに合った表し方を見付けることができ、3年生男子は「星空の店をビーズのきらきらした感じで作りたい」、4年生女子は、「飛び散る感じをモール・カラーボールで表したい」と記述している。

以上のことから、みつける力がついたと判断できる。

(ウ) つくる力の育成状況

つくる力は、「自分の思いに合わせて、自分が納得するように描いたり、つくったりすることができる」ということを目指している。24頁【資料11】は、つくる段階における児童の反応の一部を抜粋したものである。

3年生男子は、 のように用具ポートフォリオにかかわり、星空のお店をつくるための用具をそろえている。「星をホットボンドでつけたい」という発言から、用具の特徴(たくさん色があり、素材を自由自在に接着できる)を生かした活用を考えていることが分かる。そして、星空

をつくるために のように材料ポートフォリオにかかわっている。一つ一つの星の色・形・大きさを変え、さらに、【写真5】のように重ねて接着するという新しい表し方を見付けていることが分かる。その後、 のように店部分と星空部分を交互につくっている。その中で、「光る素材」と他の「光る素材」を近づけると輝きに特徴があることに気付いたり、素材の特徴を生かして接着方法を試したりしている。このような行きつ戻りつの活動によって、自分が表したい「星空のお店」がつくられていったと考えられる。そして、ふりかえりでは、「かざりは、たくさんの星をイメージしました」「きらきらしてきれいでした」と記述をしていることから、きれいにできたと納得していることが分かる。

4年生女子は、「試しながら整える」という行動から、噴水の水が吹き出す感じを自分の思いに合ったように表そうと工夫していることが分かる。そして、 のように発言・行動し、 のように用具ポートフォリオ・材料ポートフォリオにかかわっている。試した方法を考え直し、新たな方法を思い付き、安定感を考えながらつくっていることが分かる。その後、 整えたモールを【写真6】のように噴水口中央に接着している。このことから、噴水を安定感のある表し方でつくっていることが分かる。

このように、自分の思い付いたことに合わせてポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとかかわることによって、自分の思いに合わせて、自分が納得するように描いたり、つくったりして、3年生男子は「星空のお店に合わせて星の材料の組み合わせや接

【資料11】つくる段階における児童の反応（抜粋）

3年生男子の反応	4年生女子の反応
<p>T：「星空はどんな感じかな。」電気を消す。「どう？」</p> <p>C：「<u>このところに星をつける。</u>」蓋の裏部分を指す。↓<u>ホットボンドでつけたい。</u>」用具ポートフォリオから<u>ホットボンドを持ってくる。</u>【発言】 【行動】↓</p> <p>C：<u>材料ポートフォリオから多様なカラーボールを用意し、色・大きさが異なるように接着する。</u>接着の様子を見て「よし。」と声を上げる。接着したカラーボールの上に重ねてカラーボールを接着する。材料ポートフォリオから<u>ピースを用意し、カラーボールの上に重ねて接着する。</u>【行動】 【発言】</p> <p>C：<u>店部分を考え直す。</u>光沢のある透明な素材のトレーから半分の綿を取り、その上に、カラーボール・ピースを載せて考え、綿を取り出す。【行動】</p> <p>T：「お星様の感じですね。材料ポートフォリオや自分が持ってきた物の中に、もっといろいろな材料があるかもしれないですね。」</p> <p>C：<u>材料ポートフォリオから、金モール・銀モールを持ってくる。</u>↓<u>光沢のあるピースの近くにモールを当てて考えている。</u>【行動】↓</p> <p>C：<u>店部分を考え直す。</u>トレー上に細かくちぎった綿を両手で押し、弾力を確かめながら載せる。その上にカラーボール・ピースを載せる。【行動】</p> <p>C：<u>短く切った金モールを垂直に接着する。</u>うなずく。↓<u>星。</u>」金モールで星形をつくり、接着する。「くっついたいい感じかも。」【行動】 【発言】</p> <p>C：<u>店部分を考え直す。</u>カラーボール・ピースを数個載せる。【行動】</p> <p>C：<u>銀モールを入りに接着する。</u>【行動】↓</p> <p>C：「<u>星空のお店に合わせてかっこいいトレーを見付けました。かざりは、たくさんの星をイメージしました。きらきらしてきれいでした。</u>」ふりかえりを記述する。【記述】</p>	<p>C：<u>噴水が吹き出すところをつくりはじめ。</u>水色のカラーモールを噴水が吹き出すように形を動かし、<u>試しながら、整える。</u>「くもみたい？」【行動】 【発言】</p> <p>T：「水がふわあと飛び散る感じです。」</p> <p>C：「だから、(モールの色が)水色なんです。」うなずく。吹き上げ口に差し込む。モールの形を整える。不安定なため、モールが噴水口から外れる。【発言】 【行動】</p> <p>C：「<u>そうだ！花の噴水だから・・・。</u>」(どういう表し方を思い付いたのか)お楽しみですよ。」用具ポートフォリオから、<u>木工用ボンドを持ってくる。</u>材料ポートフォリオから、<u>カラーボールを持ってくる。</u>【発言】 【行動】</p> <p>C：<u>モールの中心にカラーボールを貼り付け安定感を出す。</u>吹き出すように形を動かし、<u>試しながら、モールの形を整える。</u>【行動】↓</p> <p>C：<u>整えたモールを噴水口中央に接着する。</u>【行動】</p>



【写真5】星空部分に小物類を接着する様子



【写真6】つくりの安定感を試している様子

着方法を工夫したり，店部分のつくりを考え直す」，4年生女子は，「噴水の水が飛び出す様子に合わせて，より安定感のあるつくりと材料の組み合わせを考えてつくる」という行動をしている。

以上のことから，つくる力がついたと判断できる。

(I) ふりかえる力の育成状況

ふりかえる力は，「自分の思いと照らし合わせて表現活動や作品をふりかえり，作品を価値付けることができる」ということを目指している。【資料12】は，ふりかえる段階における児童の反応の一部を抜粋し

たものである。

3年生男子は，教師の発問に対して，の反応をし，のように表現ポートフォリオや【写真7】の作品を見直している。特に，作品の星空部分を注視していた。そして，のように「作品の題名」と「作品のふりかえり」を発表している。題名を『星空のお店』と決めたのは，おもいつく段階で思い付いた「星空のお店」をそのまま反映させたものであり，この思いを持ち続けて表現活動を行ってきたと考えられる。また，図工カードに自分の思いを「星空のお店をビーズのきらきらした感じで作りたい」と記述していることから，「目立つお店にしようを思いました」「つくってみたら目立つと思いました。」と作品への思いをふりかえり，自分の作品を価値付けていることが推察できる。

3年生男子の反応	4年生女子の反応
<p>T：「表現ポートフォリオ・作品を見て『作品の題名』を考えましょう。『この作品をどんなことを思いついてきたか』ふりかえりましょう。」</p> <p>C：「ぼくは、『星空のお店』【発言】」</p> <p>T：「ずっとこだわってつくってきたものね。」</p> <p>C：「うなずく。」</p> <p>C：「作品の星空部分を見る。表現ポートフォリオ・作品を見る。【行動】」</p> <p>T：「発表しましょう。」</p> <p>C：「題は、『星空のお店』です。星空のお店をつくって絵の具を塗ったら，もっときれいになりました。きれいになってうれしかったです。目立つお店にしようと思いました。つくってみたら目立つと思いました。」【発言】</p>	<p>T：「表現ポートフォリオ・作品を見て『作品の題名』を考えましょう。『この作品をどんなことを思いついてきたか』ふりかえりましょう。」</p> <p>C：「ああ，題名が変わった。」【発言】</p> <p>C：「作品の支柱部分を見る。表現ポートフォリオ・作品を見る。【行動】」</p> <p>T：「発表しましょう。」</p> <p>C：「題は，『わくわくランド』です。噴水をつくった時，花の壁のところを，トイレットペーパーの芯を基にしてそこにカラー段ボールを貼りました。楽しくて，面白くて，わくわくするような噴水をつくることができました。うれしかったです。」【発言】</p>



【写真7】3年生男子完成作品『星空のお店』

4年生女子は，教師の発問に対して，の反応をし，のように表現ポートフォリオや【写真8】の作品を見直している。特に，作品の支柱部分を注視していた。そして，のように「作品の題名」と「作品のふりかえり」を発表している。題名を『わくわくランド』と決めたのは，児童がおもいつく段階で思い付いた「花の噴水」を，児童自身がわくわくするような思いでつくったことを反映させたものであり，この思いを持ち続けて表現活動を行ってきたと考えられる。また，図工カードに自分の思いを「わくわくするような噴水をつくりたい。」と記述していることから，「楽しくて，面白くて，わくわくするような噴水をつくることができました」「うれしかったです」と作品への思いをふりかえり，自分の作品を価値付けていることが推察できる。



【写真8】4年生女子完成作品『わくわくランド』

両児童とも、表現ポートフォリオや作品を見直すことによって、作品の題名を決定したり、作品への思いをふりかえったりして、自分の作品に対する思いを発表している。これは、自分の思いと照らし合わせて表現活動や作品をふりかえり、作品を価値付けることができたからである。

以上のことから、ふりかえる力がついたと判断できる。

イ 授業実践2の実践結果の分析と考察

以下は、題材2「色のぼうけん」の授業実践における四つの構成要素の育成状況である。

(ア) おもいつく力の育成状況

おもいつく力は、「多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴に気付き、自分の表したいものを思い付くことができる」ということを目指している。【資料13】は、おもいつく段階における児童

の反応の一部を抜粋したものである。

3年生男子は、学習課題に対し、「わくわく、どきどきする不思議な感じ」と発言していることから、自分が描きたいものについて大まかな方向性をつかんでいることが分かる。そして、のように、参考資料ポートフォリオとかかわり、「宇宙人みたい」と発言し、使った描画用具を予想している。このことから、自分が知っているものと関連させながら表し方の特徴をつかみ、描画用具の使い方

を大まかにおさえようとしていると考えられる。毛糸を巻いたローラーを変えることを確かめ、【写真9】のように用具ポートフォリオとかかわり、「変えてみたい」と発言している。これは、毛糸を巻いたローラーが不思議な感じを表すことができると考え、試そうとしている。そして、「毛糸を巻いたスポンジローラー」の表し方を試し、「すごい」と発言している。これは、試した表し方が、児童が考えていた以上に不思議な感じや驚きを与える感じを与えることが分かり、自分の作品に生かしてみたいと思っていると考えられる。そして、「太さ・濃淡が不規則な線」から、「ちょっと町が不思議なところ」や「森」を連想し、自分が表したいものを「森の中の町」と記述

【資料13】おもいつく段階における児童の反応（抜粋）

3年生男子の反応	4年生女子の反応
T:「不思議な世界を考えましょう。不思議というと、どんなことを考えますか。」	T:「不思議な世界を考えましょう。不思議というと、どんなことを考えますか。」
C:「わくわく、どきどきする不思議な感じ。」【発言】	C:「怖い感じもあるし、寂しい感じもある。」【発言】
C:参考資料ポートフォリオを見る。「宇宙人みたい。」など、それぞれの参考資料を見た印象を話す。用具ポートフォリオの用具を見比べ、どの用具を使って表したか予想する。【行動】【発言】	C:参考資料ポートフォリオを見る。マーブリングを見る。【行動】
C:用具ポートフォリオへ移動する。スポンジローラーを持つ。毛糸を巻いた変えローラーを見る。「(ローラーを)変えられるんですか。」【行動】【発言】	T:「(4年生が)前に、「この表し方は何ですか。」と話していた表し方です。」
T:「はい、できます。」	C:「これ?」じっと見る。【発言】【行動】
C:「変えてみたい。」「これに変えてみたい。」大きい声で話す。【発言】【行動】	C:「ブラシ?」「鉛筆?」それぞれの参考資料と用具ポートフォリオを見比べる。どの用具を使って表したか予想し、確かめている。【発言】【行動】
C:スポンジローラーを手で回す。準備する。毛糸を巻いたローラーと交換する。緑色を使い表す。【行動】	C:用具ポートフォリオから、マーブリング用具を持つ。「これやってみたい。」準備をする。【発言】【行動】
C:「すごい。」太さ・濃淡が不規則な線の表し方を見て話す。【発言】【行動】	C:マーブリング液を一滴、水面に浮かべ、見る。「ああ、きれいになってきた。」と、つぶやく。「ここが青で、ここがオレンジで、ここが混ざった色、きれい。」と話す。【発言】【行動】
C:「ちょっと町が不思議なところ」「森の中の町」と図工カードに記述する。【記述】	C:画用紙を水面に入れる。取り出す。「ここには、何も色が残っていません。ええ。」と、話す。首をかしげる。「ええ、これはどういうこと?これは、不思議。」と話す。【行動】【発言】
	C:「不思議な色の世界」「迷い込んだところ」と図工カードに記述する。【記述】



【写真9】毛糸を巻いた変えローラーを見る様子

したと考えられる。

4年生女子は、学習課題に対し、「怖い感じもあるし、寂しい感じもある」と発言している。このことから、自分が描きたいものの大まかな方向性をつかんでいることが分かる。そして、

のように参考資料ポートフォリオとかかわり、マーブリングの表し方をじっと見ている。それから、参考資料の特徴から描画用具を予想し、参考資料ポートフォリオ 用具ポートフォリオとかかわっている。これは、自分が試してみたい表し方の特徴をつかもうとしていると考えられる。また、「これやってみたい」と発言していることから、「怖い感じもあるし、寂しい感じがある」という様子をはじめに価値を感じたマーブリングの表し方を使って試し、表し方の方向性をつかもうとしていると考えられる。その後、 のように行動し、 のように記述している。

【写真10】のように注視して、色の流れる様子や色を一瞬で吸い取る描画方法の特徴に気付き、そこで感じた色が渦巻く不思議な感じを作品に表してみたいと思い、自分が表したいものを「不思議な色の世界」「迷い込んだところ」と決定したと考えられる。



【写真10】マーブリング模様を注視する様子

このように、表したいものの方向性をもってポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとかかわることによって、自分が表したいものを思い付き、3年生男子は「森の中の町」、4年生女子は「迷い込んだところ」のように記述している。

以上のことから、おもいつく力がついたらと判断できる。

(1) みつける力の育成状況

みつける力は、「多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの扱い方や表し方に気付き、自分の思いに

合った表し方を見付けられることができる」ということを目指している。【資料14】は、みつける段階における児童の反応の一部を抜粋したものである。

3年生男子は、用具ポートフォリオにかかわり、「ちょっと町が不思議なところ」「森の中の町」を緑系統の色を「つくっては塗り、つくっては塗る」という表し方で試し、「おお、すごい」と発言して

【資料14】みつける段階における児童の反応（抜粋）

3年生男子の反応	4年生女子の反応
<p>C：用具ポートフォリオ・試しの場で「<u>ちょっと町が不思議なところ</u>」「<u>森の中の町</u>」の表し方を試す。【行動】</p> <p>C：緑に少しずつ色を加える。スポンジローラーを使い、<u>緑系統の色をつくっては塗り、つくっては塗る。色を変え、塗る。</u>「おお、すごい。」【行動】【発言】</p> <p>C：「おお、すごい、<u>アブラムシみたい。</u>」と話す。<u>緑系統の色で描いた不規則で柔らかい線状の表し方を見る。</u>【発言】【行動】</p> <p>C：スポンジローラーのローラー部分を顔の近くに持ってきて、見る。触る。【行動】</p> <p>C：表すときの工夫を「<u>ローラーの上にペンをかきます。</u>」どのような<u>感じで表すかについては、「不思議いっぱいな森の感じです。変わった家がたくさんです。」</u>と図工カードに記述する。【記述】</p>	<p>C：「<u>迷い込んだところ</u>」の表し方を考える。<u>参考資料ポートフォリオに近づき、スパッタリングを指す。「あれ、あの方法でやってみたい。」</u>と話す。【行動】【発言】</p> <p>T：「そのままスパッタリングをする方法もあります。全体に色を塗ってから表す方法もあります」</p> <p>C：「<u>全体に塗ってから表したい。</u>」【発言】</p> <p>C：用具ポートフォリオ・試しの場へ移動する。<u>スパッタリング用の用紙に色を塗る。スポンジローラーを持って行く。色をつくる。塗る。赤に青を少しずつ混ぜ、色加減を確かめながら混色する。色を間近で見る。</u>【行動】</p> <p>C：用具ポートフォリオからまじかるローラーを持って行く。筆で点状に色をつける。「点、点。」「これ面白い。」スポンジローラーでいるいるな表し方を試して塗る。塗った用紙を見る。【行動】【発言】</p> <p>C：<u>薄い色を使いマーブリングした用紙と濃い紫・赤系統の色で塗った用紙を交互に見る。</u>【行動】</p> <p>C：表す時の工夫を「<u>マーブリングした紙をはりつける。</u>」どのような<u>感じで表すかについては、「美しい国にいつしか迷い込んだ感じ」と</u>図工カードに記述する。【記述】</p>

いる。このことから、緑系統の色や毛糸を巻いたスポンジローラーを使った表し方が森の不思議な様子を表すことができていることが分かる。そして、「アブラムシみたい」と発言し、「緑系統の色で描いた不規則で柔らかい線状の表し方」と「ローラー部分」を【写真11】のように注視している。これは、表し方の特徴を自分の言葉で確認し、毛糸を使った線状の表し方の面白さを感じていると考えられる。その後、「ローラーの上にペンでかきます」のように表し方を工夫することや、「不思議いっぱい森の感じ」「変わった家がたくさん」のように表すことを記述している。このことから、自分が使いたい色や思いに合った表し方を見付け、「不思議いっぱい森の感じ」を表すことを決定したと考えられる。



【写真11】「アブラムシみたい」と表し方を注視する様子

4年生女子は、のように参考資料ポートフォリオとかかわり、「全体に塗ってから表したい」と発言している。これは、『色のぼうけん』という題材に合わせて色と色の組み合わせを生かそうとしていると考えられる。そして、のように用具ポートフォリオとかかわり「色加減を確かめながら混色する」や「いろいろな表し方を試して塗る」のように活動している。これは、【写真12】のように色と色の組み合わせや表し方の特徴を確かめ、「迷い込んだ感じ」に合った効果的な表し方を見付けようとしていると考えられる。その後、二つの表し方に注目している。これは、「迷い込んだ感じ」を表すために異なる特徴をどのように生かし、どのように組み合わせるかについて思案していると考えられる。それから、「マーブリングした紙をはりつける」のように表し方を工夫することや、「美しい国にいつしか迷い込んだ感じ」のように表すことを記述している。このことから、自分が見付けた色の濃淡と色が渦巻く感じを生かした組み合わせを見付け、「美しい国にいつしか迷い込んだ感じ」を表すことを決定したと考えられる。



【写真12】混色した色や表し方の特徴を確かめる様子

このように、自分の思い付いたことに合わせてポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとかかわることによって、自分の思いに合った表し方を見付けることができ、3年生男子は「不思議いっぱい森の感じ」、4年生女子は、「美しい国にいつしか迷い込んだ感じ」と記述している。

以上のことから、みつける力がついたと判断できる。

(ウ) つくる力の育成状況

つくる力は、「自分の思いに合わせて、自分が納得するように描いたり、つくったりすることができる」ということを目指している。29頁【資料15】は、つくる段階における児童の反応の一部を抜粋したものである。

3年生男子は、のように用具ポートフォリオにかかわり、「不思議いっぱい森の感じ」を表している。これは、描画用具の特徴を生かし、表そうとしていると考えられる。色の濃淡を生かすことにも気付かせるために、水加減の工夫を促したところ、のように行動している。これは、「水加減」という言葉から、色水を連想し、新たに「吹き流し」で表すことを思い付き、表そうとしていると考えられる。すると、のように用具ポートフォリオにかかわり、ストローを使って吹き流しをしている。これは、自分が表したい感じになるように、細かい表し方を工夫

しながら表していると
考えられる。そして、

のように緑の屋根
部分を大木の葉で表す
ように描き、新たに吹
き流しをしている。こ
れは、不思議いっばい
な森の感じを表すため
に森全体を大木が覆う
表し方や葉の部分を吹
き流しで表すことを思
い付いていると考えら
れる。「いいこと考
えた」と、大木の葉の
水加減を多くして表
し、その表し方につい
て「本当に表したかつ
た感じだよ」「すごい
と発言している。この
ことから【写真13】の
ように、たくさんの緑
が飛び散る様子を工夫
できたと感じていることが分かる。

4年生女子は、
のように、参考資料ポートフォリオとか
かわり、参考資料と自分がつくった型を見比べ、「わあ、い
いかも」と発言している。このことから、型を使った表し方
を新たに思い付いたことが分かる。そして、
のように用具
ポートフォリオを活用し、「やってみよう」と発言している。
これは、自分が新たに思い付いた表し方を工夫しながら表そ
うと思っていると考えられる。
のように一つの版を凹版凸
版として使って表している。これは、【写真14】のように、
版を反対にする表し方を生かして、迷い込んだ感じを表そう
としていると考えられる。その後、
のように「つくって
いて、不思議な色ができました」「きれいにできて楽しかった
です」と記述している。このことから、「美しい国にいつし
か迷い込んだ感じ」に合った表し方を濃い紫と黄色という色
の組み合わせや版を反対に表すという表し方によって表現で
きたと感じていることが分かる。

このように、自分の思い付いたことに合わせてポートフォリオの機能をもつ学習コーナーとか
かわることによって、自分の思いに合わせて、自分が納得するように描いたり、つくったりして、

【資料15】つくる段階における児童の反応（抜粋）

3年生男子の反応	4年生女子の反応
<p>C:「不思議いっばいな森の感じ」を描く。用具ポートフォリオから刷毛・ブラシを持ってくる。ブラシで家の階段を丁寧に描く。刷毛で家の階段を重ねて描く。【行動】</p> <p>T:「水加減も工夫してみよう。」</p> <p>C:「水加減を工夫してみよう。もう少し水をたっぷり入れてみようかな。」【発言】</p> <p>T:「水加減はどうですか。」</p> <p>C:「はい、いいです。」色水をつかって吹き流しをする。画用紙を左右に動かす。口で吹く。【発言】【行動】</p> <p>T:「なるほど、吹き流しですね。」</p> <p>C:画用紙を持って、水滴を吹き始める。大きく息を吹き込んで吹く。「疲れた。」【行動】【発言】</p> <p>T:「ストローがありますよ。」</p> <p>C:すぐに、用具ポートフォリオからストローを持ってくる。画用紙正面からストローで吹く。左側に移動して吹く。【行動】</p> <p>C:筆で新しく緑の屋根を描く。【行動】</p> <p>T:「緑の屋根は、大木の葉を表しているのですね。」</p> <p>C:うなずく。描いた緑の屋根の色部分の色水を吹く。【行動】</p> <p>T:「大木だから、吹く部分が広いですね。」</p> <p>C:「いいこと考えた。」色水を緑の屋根部分の上に垂らす。「点、点、点。」「よし、よし、これでいい。これが本当に表したかった感じだよ。」吹き流しをする。「すごい。」【発言】【行動】</p>	<p>C:「美しい国にいつしか迷い込んだ感じ」を表す。スパッタリング用にハート型凸版の型を作る。凹版を見る。参考資料ポートフォリオの参考資料を見比べる。「わあ、いいかも。型とローラーを使って表してみよう。ここを転がしてみよう。」【行動】【発言】</p> <p>C:用具ポートフォリオからスポンジローラーを持ってくる。準備する。「やってみよう。」【行動】【発言】</p> <p>C:用紙の上に型を置き、スポンジローラーを転がす。凹版で表す。濃い紫のところに黄色を使って表す。型を取る。「おお。」型についた絵の具を用紙に接するように置く。丁寧にローラーを転がし、凸版で表す。型をそと外し、表し方を見る。【行動】【発言】</p> <p>C:「不思議な色を使って目立つ色ができました。つくって、不思議な色ができました。きれいにできて楽しかったです。」と図工カードに記述する。【記述】</p>



【写真13】吹き流しで表す様子



【写真14】版を反対に表す様子

3年生男子は「不思議いっばいな森の感じに合わせて吹き流しをする」、4年生女子は、「美しい国にいつしか迷い込んだ感じに合わせて色の組み合わせや版の使い方を工夫する」という行動をしている。

以上のことから、つくる力がついたと判断できる。

(I) ふりかえる力の育成状況

ふりかえる力は、「自分の思いと照らし合わせて表現活動や作品をふりかえり、作品を価値付けることができる」ということを目指している。【資料16】は、ふりかえる段階における児童の反応の一部を抜粋したものである。

【資料16】ふりかえる段階における児童の反応（抜粋）

3年生男子の反応	4年生女子の反応
<p>T:「表現ポートフォリオ・作品を見て『作品の題名』を考えましょう。『この作品をどんなことを思って描いてきたか』ふりかえりましょう。」</p> <p>C:「<u>作品の不思議な家部分をじっと見る。表現ポートフォリオの写真・記述したものを確かめる。【行動】</u></p> <p>C:「郵便局は、真つがです。同じ郵便局だけど受け付けたものが違う二つの郵便局を描きました。家も、変わった家がいっばいなので、自分でも満足しています。【発言】」</p> <p>T:「窓のところを説明してください。」</p> <p>C:「ここは、窓が大きいし、ここは、小さい窓があつて、さまざまな窓があります。これは、木のビルです。【発言】」</p> <p>C:「題は、『たくさん空気をすえる森の町』です。郵便局は同じ建物でも大きい荷物の局と普通の手紙を届ける局です。配達はバイクです。バイクは、飛べます。なぜかという、高いところに行くためです。」と記述する。【記述】」</p>	<p>T:「表現ポートフォリオ・作品を見て『作品の題名』を考えましょう。『この作品をどんなことを思って描いてきたか』ふりかえりましょう。」</p> <p>C:「<u>作品のマーブル模様部分とひっかき絵部分をじっと見る。表現ポートフォリオの写真・記述したものを確かめる。【行動】</u></p> <p>C:「家がお菓子のです。たくさんおいしいものがあります。ここが、入口と出口です。」指の形に切ったマーブル模様様の入口・出口について、説明する。【発言】【行動】」</p> <p>T:「この家の中にひっかき線の模様があります。これは、どういうことを考えたのですか。」</p> <p>C:「お菓子を食べながら住むことができる家だから、(食べた感じを表して)です。【発言】」</p> <p>C:「題は『お菓子の国』です。不思議な模様(マーブル模様)のたくさんに出会うと、みんな、ついでにいきたくります。『遊びに来てね。』と記述する。【記述】」</p>

3年生男子は、教師の発問に対し、のように表現ポートフォリオや【写真15】の作品を見直している。特に、作品の不思議な家部分を注視していた。そして、のように「作品のふりかえり」を発表している。おもいつく段階の思いを「変わった家がたくさんな感じ」で表したい

と記述していたことから、「家も、変わった家が**いっばいな**ので、自分でも満足しています」というようにはじめの思いを持ち続けて表現活動ができたことをふりかえり、自分の作品を価値付けていることが推察できる。そして、のように「作品の題名」と「作品のふりかえり」を発表している。題名を『**たくさん空気をすえる森の町**』と決めたのは、図工カードに「不思議いっばいな感じ」を表したいと記述し、つくる段階でのふりかえりを「森の緑の葉っぱを表しました」「面白くて不思議な感じでした」「大きい窓は、森の空気がたくさん吸えます」「気持ちいい感じの空気です」と記述していたことを反映させたものであり、この思いを持ち続けて表現活動を行ってきたことによるものと考えられる。

4年生女子は、教師の発問に対して、のように表現ポートフォリオや【写真16】の作品を見直している。特に、作品のマーブルで表した部分とひっかき絵で表した部分を注視していた。そして、のように「作品のふりかえり」を発表している。おもいつく段階の思いを「美しい国にいつしか迷い込んだ感じ」に表したいと記述していたことから、「入



【写真15】3年生男子完成作品『たくさん空気をすえる森の町』



【写真16】4年生女子完成作品『お菓子の国』

口」「出口」部分を「マーブリング」、店部分を「ひっかき絵」という「不思議な感じ」の表し方ができたことをふりかえり、自分の作品を価値付けていることが推察される。のように題名を『お菓子の国』と決めたのは、図工カードに「美しい国にいつしか迷い込んだ感じ」を表したいと記述し、つくる段階でのふりかえりを「不思議な世界に迷い込んでしまいました」「そこには食べ物の国みたいに食べ物が多いです」と記述していたことを反映したものであり、この思いを持ち続けて表現活動を行ってきたことによるものと考えられる。

両児童とも、表現ポートフォリオや作品を見直すことによって、作品の題名を決定したり、作品への思いをふりかえったりして、自分の作品に対する思いを発表している。これは、自分の思いと照らし合わせて表現活動や作品をふりかえり、作品を価値付けることができたからである。

以上のことから、ふりかえる力がついたらと判断できる。

5 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導に関する研究のまとめ

これまで、手だての試案に基づく授業実践を行い、実践結果の分析と考察をとおして、その有効性を考えてきた。その結果から、成果と課題についてまとめる。

(1) 成果

ア おもいつく段階では、「多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴に気づき、自分の表したいものの思いを広げること」の育成を目指した。そのために、自分の思いに合わせてポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用させ、材料の特徴に気付かせたり、材料の効果的な組み合わせ方を工夫させたり、用具の扱い方をつかませたりした。このことにより、自分のつくりたいものの方向性もち、自分が表したいものをより具体的にふくらませ、おもいつく力を育成することができた。

イ みつける段階では、「多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などの特徴から、自分の思いに合った表し方を見付け、思いを深めること」の育成を目指した。そのために、自分の思い付いたことに合わせてポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用させ、材料や用具を使った表し方に気付かせたり、材料や用具を使った効果的な表し方を見付けさせたりした。このことにより、自分の思いに合った表し方を試したり、見付けたりするなどして、よさや感じを生かす表し方を考え、みつける力を育成することができた。

ウ つくる段階では、「自分の思いに合わせて、自分が納得するように描いたり、つくったりすること」の育成を目指した。そのために、自分の思い付いたことに合わせてポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用させ、材料の特徴を生かしてつくらせたり、用具の扱い方を生かしてつくらせたり、表し方を工夫してつくらせたりした。このことにより、色や形の組み合わせを考えて工夫したり、新たなことを思い付き、つくっているものを考え直し、新たに手を加えたりして、つくる力を育成することができた。

エ ふりかえる段階では、「自分の思いと照らし合わせて表現活動や作品をふりかえり、作品を価値づけること」の育成を目指した。そのために、表現ポートフォリオを活用させ、自分の思いの実現状況についてふりかえりをさせたり、思いや表現活動の価値付けをさせたりした。このことにより、各段階に蓄積したものを反映させて題名を考えたり、自分の思いを色や形などに実現した喜びを発表・記述したりして、ふりかえる力を育成することができた。

(2) 課題

ア 児童がポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用し、材料とかかわったり、表し方を考えたりしたことなどを、表現ポートフォリオにこまめに蓄積していくための指導の工夫が必要である。

イ 今回、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した授業実践を少人数学級で行った。多人数学級で行う場合は、以下に示す三点について配慮が必要と思われる。

(ア) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用して児童一人一人が感じたことを互いに交流できるような機会を設定する。

(イ) 表現の過程の作品を展示する場所を確保し、参考資料として提示する。

(ウ) 児童一人一人の表現ポートフォリオを鑑賞できるようにして、児童同士の学び合いができるようにする。

以上のことから、課題はあるものの、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用を取り入れた手だての試案は有効であり、自分らしい表現を追究する力をはぐくむことに効果があったと考える。

研究の成果と課題

1 研究のまとめ

本研究は、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れ、自分らしい表現を追究する力をはぐくむ学習指導の在り方について明らかにし、小学校中学年図画工作科の学習指導の改善に役立てようとするものであった。そのために、自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導の基本構想を立案し、手だての試案に基づいた実践をとおして、その有効性を検討してきた。その結果、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した手だてを取り入れた指導は、自分らしい表現を追究する力をはぐくむ上で有効であったことが確かめられた。なお、成果として得られたことは、次のとおりである。

(1) 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導の基本構想

基本構想の立案において、自分らしい表現を追究する力をはぐくむために、多様な材料・用具・表し方の参考資料・参考作品などを蓄積したポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を構想した。このポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを、指導過程の各段階で活用することにより、自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導の在り方を示すことができた。

(2) 手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察

児童自ら作品展示を見に行くことに関する実態調査を行った。調査結果の分析と考察から明らかになった「かかわったことを自分の表し方に生かすように手だてを工夫する」ということを考慮して、手だての試案作成上の観点及び留意点としてまとめることができた。

(3) ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れた手だての試案の作成

基本構想及び実態調査から明らかになった手だての試案作成上の観点及び留意点を基に、「手だての試案」を作成した。このことにより、指導過程の各段階「おもいつく段階」「みつける段階」「つくる段階」「ふりかえる段階」におけるポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用の仕方を示すことができた。また、「絵に表す」「つくりたいものをつくる」における「事前準備の試案」と「設置試案(全体図)」を作成し、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの設置の具体例を示すことができた。

(4) 授業実践及び実践結果の分析と考察

手だての試案に基づき、二つの授業実践を行った。どちらの授業実践においてもポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの指導過程の各段階において四つの力をはぐくむことができた。このことにより、ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーを活用した指導を取り入れた手だての試案が、児童の自分らしい表現を追究する力をはぐくむ上で有効であることが確かめられた。

(5) 小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導に関する研究のまとめ

小学校中学年図画工作科において自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導について、成果と課題を明らかにすることができた。

2 今後の課題

本研究では、自分らしい表現を追究する力をはぐくむ指導について「絵に表す」「つくりたいものをつくる」の授業実践をとおして実践的に明らかにしてきた。本研究を今後、さらに生かすための課題として、今回作成した手だてが「造形遊び」「立体に表す」において同じような効果があるかどうかについて検討していきたい。

おわりに

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と児童のみなさんに心から感謝申し上げます、結びのことばといたします。

【参考文献】

- 青木善治（2005）,「新しい意味や 私 をつくり,つくりかえ,つくり続ける図画工作」『教育美術』8月号,教育美術振興会,pp.31-46
- 板良敷敏・阿部宏行（2005）,『図画工作の指導と評価 - わくわくどきどき楽しい授業! - 』東洋館出版
- 國清あやか（2005）,『新時代の授業づくり:理論と実践の展開7 学力の質的向上をめざす造形科授業の創造』,明治出版
- 佐藤学・今井康雄（2003）『子どもたちの想像力を育む アート教育の思想と実践』東京大学出版会
- D.G. シンガー・J.L. シンガー（高橋たまき・無藤隆・戸田須恵子・新谷和代訳）,（1997）,『遊びがひらく想像力-創造的人間への道筋-』,(新潮社)
- ハーバート・リード,(宮脇理・岩崎清・直江俊雄),(2001)『芸術による教育』,フィルムアート社
- 長谷川善則（2005）,「学び合う姿を目指して - 「図画工作アルバム」を用いた実践 - 」『教育美術』4月号,教育美術振興会,pp.48-53
- 浜田浩・佐々木達行・西村徳行（2004）,『子どもの豊かさに培う共生・共創の学び 図画工作 筑波プランと実践』,東洋館出版社

【参考Webページ】

- 広島県立教育センター『研究紀要』第33号（2005）<http://pfrq3.hiroshima-c.ed.jp/research.html>
- 福岡市教育センター図画工作・美術研究室『個性を生かし,自らつくりだす喜びを味わう児童の育成 - 自分らしい表現を追究する選択の在り方を中心に - 』（1998）<http://www.fuku-c.ed.jp/center/houkokusyo/h11/index.html>

補充資料

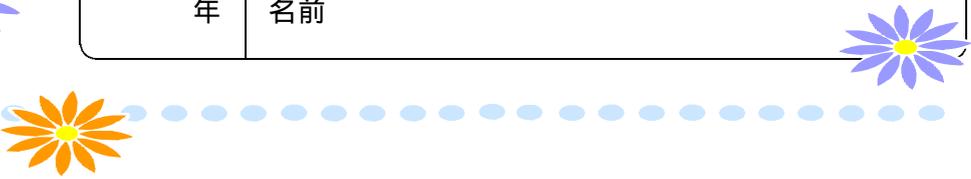
目次

【補充資料 1】	実態調査の調査用紙	資 1
【補充資料 2 -	】授業実践 1	題材『ハッピーボックス』の主題・目標・評価規準 資 2
【補充資料 2 -	】授業実践 1	題材『ハッピーボックス』の指導計画（4時間扱い） 資 3
【補充資料 2 -	】授業実践 1	題材『ハッピーボックス』の指導展開案（1 / 4時間）	... 資 4
【補充資料 2 -	】授業実践 1	題材『ハッピーボックス』の指導展開案（2 / 4時間）	... 資 5
【補充資料 2 -	】授業実践 1	題材『ハッピーボックス』の指導展開案（3 / 4時間）	... 資 6
【補充資料 2 -	】授業実践 1	題材『ハッピーボックス』の指導展開案（4 / 4時間）	... 資 7
【補充資料 2 -	】授業実践 1	題材『ハッピーボックス』の図工カード 資 8
【補充資料 3 -	】授業実践 2	題材『色のぼうけん』の主題・目標・評価規準 資 11
【補充資料 3 -	】授業実践 2	題材『色のぼうけん』の指導計画（4時間扱い） 資 12
【補充資料 3 -	】授業実践 2	題材『色のぼうけん』の指導展開案（1・2 / 4時間）	... 資 13
【補充資料 3 -	】授業実践 2	題材『色のぼうけん』の指導展開案（3・4 / 4時間）	... 資 14
【補充資料 3 -	】授業実践 2	題材『色のぼうけん』の図工カード 資 15

図画工作の学習についてのアンケート



年	名前
---	----



このアンケートは、みなさんに図画工作の学習の様子について教えてもらい、これからの図画工作の勉強をもっと楽しくするためにどうしたらよいか考えるために使います。自分の考えや気持ちに一番近いものを一つ選び、をつけてください。



1 学校で、図画工作のてんじ会をしました。あなたは、自分から進んで絵や工作などの作品を見に行きますか。自分の考えや気持ちに一番近いものを一つ選び、をつけてください。

- ア 自分から進んで見に行く。
- イ 友だちにさそわれて見に行く。
- ウ 自分から進んで見に行かない。
- エ 友だちにさそわれても見に行かない。



これでアンケートはおわりです。ありがとうございました。



【補充資料2 - 】授業実践1 題材『ハッピーボックス』の主題・目標・評価規準

授業実践1 題材「ハッピーボックス」 - A表現(2) - (第3・4学年・4時間)

- 1 学習の主題
紙粘土や身边材料のよさや美しさなどに気付き、それらを生かし開いた箱の中に想像した世界を工夫しながら楽しくかいたり、つくったりする。
- 2 題材の目標
 - 【造形への関心・意欲・態度】
紙粘土や身边材料の面白さや美しさの組み合わせに関心を持ち、表したいことが表れるように、つくることを楽しもうとする。
 - 【発想や構想の能力】
題名や紙粘土・身边材料から自分の表したいことを思い付き、形や色、材料などの組み合わせの美しさなどを考え、表したいことの見通しをもつ。
 - 【創造的な技能】
紙粘土や身边材料、絵の具や接着剤などの用具の特徴を生かし、表したいことが表れるように組み合わせの感じなどを考えながら、表し方を工夫する。
 - 【鑑賞の能力】
表現の過程や作品を見て、材料の使い方や表し方による感じの違いに気付き、自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る。
- 3 題材の評価規準

題材の評価規準	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	紙粘土や身边材料の面白さや美しさの組み合わせに関心を持ち、表したいことが表れるように、つくることを楽しもうとする	題名や紙粘土・身边材料などから自分の表したいことを思い付き、形や色、材料などの組み合わせの美しさなどを考え、表したいことの見通しをもつ	紙粘土や身边材料、絵の具や接着剤などの用具の特徴を生かし、表したいことが表れるように組み合わせの感じなどを考えながら、表し方を工夫する	表現の過程や作品を見て、材料の使い方や表し方による感じの違いに気付き、自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る
学習場面における 三年生 具体の評価規準	自分が必要と思う材料を集め、生かさそうとする	形と色、材料と色などの組み合わせによって、様々な感じになることに気付き、自分の表したい思いをふくらませる	紙粘土などの材料の特徴を生かしたり、手を加えたりしながらつくる	表現の過程や作品を見て、感じたことを自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る
	自分の想像の世界を表すことを楽しもうとする	新しい発見をしたことなどをきっかけにしたりして、表したいことが表れるように見通しをもつ	材料や用具などの特徴を生かし、表し方を工夫する	
学習場面における 四年生 具体の評価規準	紙粘土・モール・ビーズ・毛糸など、好きな色・形・必要と思う用具を自ら集め、それらを生かさそうとする	形と色、材料と色などの組み合わせによって、様々な美しさや面白い感じになることに気付き、自分の表したい思いをふくらませる	紙粘土・モール・ビーズ・毛糸などの材料の特徴を生かしたり、手を加えたりしながらつくる	表現の過程や作品を見て、材料の使い方や表し方による感じの違いに気付き、自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る
	美しさや面白さなどの感じを考えながら、自分の想像の世界を表すことを楽しもうとする	新しい発見をしたことなどをきっかけにしたりして、初めの計画を見直し、表したいことが表れるように見通しをもつ	材料や用具などの特徴を生かしたり、接着を確実にしたりしながら、表し方を工夫する	

【補充資料2 - 】授業実践1 題材『ハッピーボックス』の指導計画(4時間扱い)

4 題材の指導計画(4時間扱い)

時間	指導過程	学習内容	学習活動	指導の手だて			
				ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用	具体的評価規準 (3年生 4年生)	指導上の留意点 (は実態調査を受けての配慮事項)	
	事前準備		<ul style="list-style-type: none"> 材料集めをする 	ポートフォリオの機能をもつ学習コーナー (材料): 材料ポートフォリオ (用具): 用具ポートフォリオ (参考): 参考資料ポートフォリオ (表現): 表現ポートフォリオ	関...造形への関心 ・意欲 ・態度 発...発想や構想の能力 技...創造的な技能 鑑...鑑賞		
1	おもいつく段階 20分	1 表したいものの発想を広げる	<ul style="list-style-type: none"> 題材と出会い学習の見直しをもつ 箱の中につくる想像の世界に興味をもつ 箱の中にするべきな世界をつくる 箱の開き方を知る 箱の開き方を試したり、多様な見立りを、思いを広げ、 すてきな世界の組み合わせを考える 	おもいつく力 (材料)(用具)(参考) ・材料の特徴に気付かせる ・材料の効果的な組み合わせを工夫させる ・用具の扱い方を知らせる (表現) ・発想したことや価値を感じたことを蓄積させる	関	関	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな形や大きさの箱を提示し興味をもたせる 箱の開き方から感じた自分の思いを大事にさせ、追究の態度につなげさせる 題材や材料・用具などと体全体の感覚を動かしてかかわる時間を充分にとる
	みつつける段階 20分	2 表したいものの構想を広げる	<ul style="list-style-type: none"> 箱の中に材料を、実際に置き、思い合った表し方を見付ける 箱の開き方を工夫しながら気に入れた開き方を見付ける 	みつつける力 (材料)(用具)(参考) ・材料や用具を使った表し方に気付かせる ・材料や用具を使った効果的な表し方を見付けさせる (表現) ・構想したことや価値を感じたことを蓄積させる	発	発	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いに合った表し方を見付けたり、試したりするかかわりをもたせる 題材や材料・用具などとかかわって気付いたことや価値を感じたことはいつでも蓄積できるようにする 蓄積したものは活動の中で活用できるようにする
2	つくる段階 5分・45分・3	3 自分の思いに合わせた、納得するよう表現する	<ul style="list-style-type: none"> 箱の中の世界や箱の開き方を考え、つくる 材料の組み合わせや表し方を試したり、工夫したりする 自分のすてきな世界をよりよく表すために、思いに応じた試みをする より思いに合った材料や表し方を見付ける 	つくる力 (材料)(用具)(参考) ・材料の特徴を生かしてつくる ・材料の扱い方を生かしてつくる ・表し方を工夫してつくる (表現) ・表現したことや価値を感じたことを蓄積させる	技関	技関	蓄積したものは、活動の中で活用できるようにする 表し方の参考資料・参考作品などの表現の過程について、その特徴となることを黒板などを利用していつでも見える環境をつくる
4	ふりかえる段階 20分	4 自分の思いと表現活動や作品を照らし合わせて、ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> 自分の表現活動や作品についてふりかえる 	ふりかえる力 (表現) ・自分の思いの実現状況をふりかえりをさせる ・思いや表現活動の価値付けをさせる ・題材の学習をとおして価値を感じたことや表現したことについてまとめさせる	鑑	鑑	<ul style="list-style-type: none"> 自他の思いについて交流させる

【補充資料2 - 】授業実践1 題材『ハッピーボックス』の指導展開案(1/4時間)

- (1) 目標 箱の中に想像の世界をつくることの楽しさを感じ、表したいことの見通しをもつ。
 (2) 展開

過程	学習活動	指導上の手だて	
		ポートフォリオの機能をもつ 学習コーナーの活用	指導上の留意点 (は実態調査を受けて の配慮事項)
導入	1 題材と出会い学習の見通しをもつ 『ハッピーボックス～箱にすてきな世界をつくろう～』 ・箱の中につくる想像の世界に興味をもつ 2 学習課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">すてきな世界を考えよう</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> ポートフォリオの機能をもつ 学習コーナー (材料): 材料ポートフォリオ (用具): 用具ポートフォリオ (参考): 参考資料ポートフォリオ (表現): 表現ポートフォリオ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな形や大きさの箱を提示し、興味をもたせる ・箱の開き方から感じた自分の思いを大事にさせ、追究の態度につなげさせる
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・箱の中にすてきな世界をつくることを知る 		
展開	3 表したいものの発想を広げる ・箱の開き方を試したり、多様な見立てを楽しんだりして、思いを広げる ・すてきな世界の内容や材料の組み合わせを考える	(材料)(用具)(参考) ・材料の特徴に気付かせる ・材料の効果的な組み合わせを工夫させる ・用具の扱い方をつかませる (表現) ・発想したことや価値を感じたことを蓄積させる	題材や材料・用具などと体全体の感覚を働かせてかかわる時間をもとにする
	4 表したいものの構想を深める ・箱の中に材料を実際に置き、思いに合った表し方を見付ける ・箱の開き方を工夫しながら気に入った開き方を見付ける	(材料)(用具)(参考) ・材料や用具を使った表し方に気付かせる ・材料や用具を使った効果的な表し方を見付けさせる (表現) ・構想したことや価値を感じたことを蓄積させる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いに合った表し方を見付けたり、試したりするかかわりをもたせる 題材や材料・用具などとかかわって気付いたことや価値を感じたことは、いつでも蓄積できるようにする 蓄積したものは活動の中で活用できるようにする
35分			
終末	5 学習のふりかえりをする		
5分	6 学習のまとめする		

【補充資料2 - 】授業実践1 題材『ハッピーボックス』の指導展開案(2 / 4時間)

- (1) 目標 自分の表したいことが表れるように、材料を選んだり、組み合わせたりしてつくる。
 (2) 展開

過程	学習活動	指導上の手だて	
		ポートフォリオの機能をもつ 学習コーナーの活用	指導上の留意点 (は実態調査を受けて の配慮事項)
導入 5分	1 前時の学習の学習のふりかえりをする 2 学習課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の思いに合わせて材料を選んだり、組み合わせたりしてつくろう </div>		
展開 35分	3 自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する ・箱の中の世界や箱の開き方を考え、つくる ・材料の組み合わせや表し方を試したり、工夫したりする ・より思いに合った材料や表し方を見付ける	(材料)(用具)(参考) ・材料の特徴を生かしてつくる ・材料の扱い方を生かしてつくる ・表し方を工夫してつくる (表現) ・表現したことや価値を感じたことを蓄積させる	蓄積したものは、活動の中で活用できるようにする 表し方の参考資料・参考作品などの表現の過程について、その特徴となることを黒板などを利用していつでも見える環境をつくる
終末 5分	4 学習のふりかえりをする 5 学習のまとめする		

【補充資料2 - 】授業実践1 題材『ハッピーボックス』の指導展開案(3 / 4時間)

- (1) 目標 自分の表したいことが表れるように、材料を選んだり、組み合わせたりしてつくる。
 (2) 展開

過程	学習活動	指導上の手だて	
		ポートフォリオの機能をもつ 学習コーナーの活用	指導上の留意点 (は実態調査を受けて の配慮事項)
導入 5分	1 前時の学習の学習のふりかえりをする 2 学習課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の思いに合わせて材料を選んだり、組み合わせたりしてつくりよう </div>		
展開 35分	3 自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する ・自分のすてきな世界をよりよく表すために、思いに応じた試みをする ・より思いに合った材料や表し方を見付ける	(材料)(用具)(参考) ・材料の特徴を生かしてつくりさせる ・材料の扱い方を生かしてつくりさせる ・表し方を工夫してつくりさせる(表現) ・表現したことや価値を感じたことを蓄積させる	蓄積したものは、活動の中で活用できるようにする 表し方の参考資料・参考作品などの表現の過程について、その特徴となることを黒板などを利用していつでも見える環境をつくる
終末 5分	4 学習のふりかえりをする 5 学習のまとめする		

【補充資料2 - 】授業実践1 題材『ハッピーボックス』の指導展開案（4 / 4時間）

(1) 目標 自分の表したいことが表れるように、材料を選んだり、組み合わせたりしてつくる。表現の過程や作品から、材料の使い方や表し方による感じの違いに気付く。

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の手だて	
		ポートフォリオの機能をもつ 学習コーナーの活用	指導上の留意点 (は実態調査を受けて の配慮事項)
導入 5分	1 前時の学習の学習のふりかえりをする 2 学習課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の思いに合わせて材料を選んだり、組み合わせたりしてつくる </div>		
展開 35分	3 自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する ・より思いに合った表し方を見付ける <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の思いに合わせて表したところをふりかえろう </div>	(材料)(用具)(参考) ・材料の特徴を生かしてつくる ・材料の扱い方を生かしてつくる ・表し方を工夫してつくる (表現) ・表現したことや価値を感じたことを蓄積させる	蓄積したものは、活動の中で活用できるようにする 表し方の参考資料・参考作品などの表現の過程について、その特徴となることを黒板などを利用していつでも見える環境をつくる
	4 自分の思いと表現活動や作品を照らし合わせて、ふりかえり <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の思いに合わせて表したところをふりかえろう </div>	(表現) ・自分の思いの実現状況についてふりかえりをさせる ・思いや表現活動の価値付けをさせる	・自他の思いについて交流させる
終末 5分	5 学習のふりかえりをする 6 学習のまとめする	(表現) ・題材の学習をとおして価値を感じたことや表現したことについてまとめさせる	

ハッピーボックスをつくらう

～ はこにすてきな世界をつくらう～



すてきな世界というと？
例) うれしくなるような
幸せな気持ちになるような…





その中につくりたいものは？

どのようなはこの中にしたい？ (イメージスケッチ)
はこの中の色はどうしたい？
ことばでも説明をつけくわえてみよう。
色鉛筆で色をつけてみてもいいね。

年 名前



どのようなすてきな世界にしたい？



どのような材料で
どのような用具で
どのような表し方で



材料



用具



表し方



では、つくってみましょう。



ふりかえり

時	ふりかえり
1	
2	
3	
4	

ハッピーボックスをつくらう

～ はこにすてきな世界をつくらう～

年 名前

書くときのポイント
こんなことをおもって、かきました。
かいていてこんなことがおもしろかったです。
こんなことを工夫しました。発見しました。

授業実践2 題材「色のぼうけん」- A表現(2) - (第3・4学年・4時間)

- 1 学習の主題
水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法のよさや美しさなどに気付き、それらを生かし自分の想像した世界を工夫しながら楽しく表す。
- 2 題材の目標
 - 【造形への関心・意欲・態度】
水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法のよさや美しさに関心を持ち、想像をふくらませて、表現することを楽しもうとする。
 - 【発想や構想の能力】
題名や水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法から、自分の表したいことを思い付き、形や色、描画材料などの組み合わせの美しさなどを考え、表したいことの見通しをもつ。
 - 【創造的な技能】
水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法の特徴を生かし、表したいことが表れるように組み合わせの感じなどを考えながら、表し方を工夫する。
 - 【鑑賞の能力】
表現の過程や作品を見て、表し方や材料の使い方による感じの違いに気付き、自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る。
- 3 題材の評価規準

		造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
題材の評価規準		水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法のよさや美しさに関心を持ち、想像をふくらませて、表現することを楽しもうとする	題名や水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法から、自分の表したいことを思い付き、形や色、描画材料などの組み合わせの美しさなどを考え、表したいことの見通しをもつ	水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法の特徴を生かし、表したいことが表れるように組み合わせの感じなどを考えながら、表し方を工夫する	表現の過程や作品を見て、表し方や材料の使い方による感じの違いに気付き、自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る
学習場面における 三年生	具体的評価規準	水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法を選び、それらを生かそうとする	形と色、材料と色などの組み合わせによって、様々な感じになることに気付き、自分の表したい思いをふくらませる	水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料の特徴を生かしたり、手を加えたりしながら表す	表現の過程や作品を見て、感じたことを自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る
	学習場面における 四年生	自分の想像の世界を表すことを楽しもうとする	新しい発見をしたとなどをきっかけにしたりして、表れたいことが表れるように見通しをもつ	水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法の特徴を生かし、表し方を試したりしながら、表し方を工夫する	表現の過程や作品を見て、描画材料や表し方による感じの違いに気付き、感じたことを自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る
学習場面における 四年生	具体的評価規準	水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法、好きな色・形・必要と思う描画用具を自ら選び、それらを生かそうとする	形と色、材料と色などの組み合わせによって、様々な美しさや面白い感じが違うことに気付き、自分の表したい思いをふくらませる	水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法の特徴を生かしたり、手を加えたりしながら表す	表現の過程や作品を見て、描画材料や表し方による感じの違いに気付き、感じたことを自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る
	学習場面における 四年生	よさや美しさなどを感じながら、自分の想像の世界を表すことを楽しもうとする	新しい発見をしたとなどをきっかけにしたりして、初めの計画を見直し、表したいことが表れるように見通しをもつ	水彩絵の具・クレヨンなどの描画材料・描画方法の特徴を生かし、色をつくったり、表し方を試したりしながら、表し方を工夫する	表現の過程や作品を見て、描画材料や表し方による感じの違いに気付き、感じたことを自分の言葉で話したり、友だちの話を聞いたりしながら見る

【補充資料3 - 】授業実践2 題材『色のぼうけん』の指導計画（4時間扱い）

4 題材の指導計画

時間	指導過程	学習内容	学習活動	指導の手だて			
				ポートフォリオの機能をもつ学習コーナーの活用	具体的評価規準 3年生 4年生	指導上の留意点 (は実態調査を受けての配慮事項)	
	事前準備		<ul style="list-style-type: none"> 材料集めをする 	<p>ポートフォリオの機能をもつ学習コーナー</p> <p>(材料): 材料ポートフォリオ (用具): 用具ポートフォリオ (参考): 参考資料ポートフォリオ (表現): 表現ポートフォリオ</p>	<p>関...造形への関心 ・意欲 ・態度</p> <p>発...発想や構想の能力</p> <p>技...創造的な技能</p> <p>鑑...鑑賞</p>		
1	おもいつく段階 20分	1 表したいものの発想を広げる	<ul style="list-style-type: none"> 題材と出会い学習の見通しをもつ 色で表す想像の世界に興味をもつ 水彩絵の具やクレヨンなどを使って不思議な世界を表すことを知る 不思議な世界についての思いをふくらませる 	<p>おもいつく力 (材料)(用具)(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 描画材料の特徴に気付かせる 描画材料の効果的な組み合わせを工夫させる 描画用具の扱い方つかませる <p>(表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発想したことや価値を感じたことを蓄積させる 	関	関	<ul style="list-style-type: none"> 水彩絵の具・クレヨンなどを使った多様な表し方についてポイントを絞って提示し、興味をもたせる 題材や描画材料・描画用具などと体全体の感覚を働かせてかかわる時間を充分にとる
	みつける段階 20分	2 表したいものの構想を広げる	<ul style="list-style-type: none"> 描画材料や描画用具などの扱い方や表し方などを工夫しながら、気に入った表し方を見付ける どんな描画材料や描画用具などを使って表すか組み合わせを考える 	<p>みつける力 (材料)(用具)(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 描画材料や描画用具を使った表し方に気付かせる 描画材料や描画用具を使った効果的な表し方を見付けさせる <p>(表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 構想したことや価値を感じたことを蓄積させる 	発	発	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いに合った表し方を見付けたり、試したりするかかわりをもたせる 題材や描画材料・描画用具などがかかわって気付いたことや価値を感じたことは、いつでも蓄積できるようにする 蓄積したものは活動の中で活用できるようにする
2 3 4	つくる段階 5分・45分・45分・25分	3 自分の思いに合わせて、納得するように表現する	<ul style="list-style-type: none"> 描画材料や描画用具などの表し方を生かしながら、表現する よりよく表すために付け加えるものや模様などの細部をどのようにするか、思いに応じた試みをする より思いに合った表し方を見付けさせる 	<p>つくる力 (材料)(用具)(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 描画材料の特徴を生かして表すようにさせる 描画用具の扱い方を生かして表すようにさせる 表し方を工夫して表わすようにさせる <p>(表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現したことや価値を感じたことを蓄積させる 	技 関	技 関	<ul style="list-style-type: none"> 蓄積したものは、活動の中で活用できるようにする 表し方の参考資料・参考作品などの表現の過程について、その特徴となることを黒板などを利用していつでも見える環境をつくる
	ふりかえる段階 20分	4 自分の思いと表現活動や作品を照らし合わせて、ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> 自分の表現活動や作品についてふりかえる 	<p>ふりかえる力 (表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いの実現状況をふりかえりをさせる 思いや表現活動の価値付けをさせる 題材の学習をとおして価値を感じたことや表現したことについてまとめさせる 	鑑	鑑	<ul style="list-style-type: none"> 自他の思いについて交流させる

【補充資料3 - 】授業実践2 題材『色のぼうけん』の指導展開案(3・4 / 4時間)

- (1) 目標 水彩絵の具やクレヨンなどの描画材料の組み合わせによる感じの違いを試しながら工夫して、表す。
表現の過程や作品から、材料の使い方や表し方による感じの違いに気付く。
- (2) 展開

過程	学習活動	指導上の手だて	
		ポートフォリオの機能をもつ 学習コーナーの活用	指導上の留意点 (は実態調査を受けて の配慮事項)
導入	1 前時の学習の学習のふりかえりをする 2 学習課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の思いに合わせて材料を選んだり、組み合わせたりしてつくる </div>		
5分			
展開	3 自分の思いに合わせて、自分が納得するように表現する ・描画材料や描画用具などの表し方を生かしながら、表現する ・よりよく表すために付け加えるものや模様などの細部をどのようにするか、思いに応じた試みをさせる ・より思いに合った表し方を見付けさせる ----- 4 自分の思いと表現活動や作品を照らし合わせて、ふりかえる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の思いに合わせて表したところをふりかえろう </div>	(材料)(用具)(参考) ・描画材料の特徴を生かして表すようにさせる ・描画用具の扱い方を生かして表すようにさせる ・表し方を工夫して表すようにさせる (表現) ・表現したことや価値を感じたことを蓄積させる	蓄積したものは、活動の中で活用できるようにする 表し方の参考資料・参考作品などの表現の過程について、その特徴となることを黒板などを利用していつでも見える環境をつくる
80分		(表現) ・自分の思いの実現状況についてふりかえりをさせる ・思いや表現活動の価値付けをさせる	・自他の思いについて交流させる
終末	5 学習のふりかえりをする 6 学習のまとめする	(表現) ・題材の学習をとおして価値を感じたことや表現したことについてまとめさせる	
5分			

色のぼうけん

～ クレヨン・絵の具のふしぎな世界をつくろう～



ふしぎな世界というと？



かきたい場面は？



イメージスケッチをしてみよう。(おおまかに)

◆ことばでも説明をつけくわえてみよう。

◆色鉛筆で色をつけてみてもいいね。

年 名前



どのような絵にしたいですか？

◆どのような用具で

◆どのような工夫で

◆どのような感じの

◆ 用具
◆ 工夫(表し方・はりつける材料など画面上の工夫)
◆ どのような感じ



ふりかえり ☀️では、かいてみましょう。☀️

時	ふりかえり
1	
2	
3	
4	

色のぼうけん

～ クレヨン・絵の具のふしぎな世界をつくろう～



年 名 前



書くときのポイント

こんなことをおもって、かきました。
かいていてこんなことがおもしろかったです。
こんなことを工夫しました。発見しました。